

医史学関係文献目録^(五十音順)

平成3(1991)年

順天堂大学医史学研究室編

- | | |
|--------------|-----------|
| 01 単行本 | 20 産婦人科史 |
| 02 医学切手・書画 | 21 齒学史 |
| 03 医学教育 | 22 史跡・記念碑 |
| 04 医学用語 | 23 疾病史 |
| 05 医師会・学会 | 24 耳鼻咽喉科史 |
| 06 医史学一般 | 25 種痘史 |
| 07 医の倫理 | 26 獣医学史 |
| 08 医療器械 | 27 書簡 |
| 09 医療制度史・医療史 | 28 書誌学 |
| 10 衛生・公衆衛生史 | 29 小児科史 |
| 11 解剖学史 | 30 神経学史 |
| 12 眼科史 | 31 診断学史 |
| 13 看護史 | 32 整形外科史 |
| 14 寄生虫学史 | 33 精神医学史 |
| 15 教室史 | 34 生物学史 |
| 16 軍陣医学史 | 35 西洋医師学史 |
| 17 形成外科史 | 36 生化学史 |
| 18 外科史 | 37 生理学史 |
| 19 細菌学史 | 38 地方史 |

- | | |
|---------------|-----------------|
| 39 治療史 | 51 法医学史 |
| 40 伝記 | 52 放射線医学史 |
| 41 伝記(双) | 53 本草学史・博物学史 |
| 42 伝染病史・防疫史 | 54 麻酔学史 |
| 43 東洋医学史 | 55 門人録 |
| 44 内科史 | 56 薬学史 |
| 45 皮膚科史・泌尿器科史 | 57 蘭学史 |
| 46 病院史 | 58 リハビリテーション関係史 |
| 47 病跡学 | 59 その他 |
| 48 病理学史 | 60 中国語文献 |
| 49 風俗史 | 61 欧文文献 |
| 50 仏教医学史 | |

今回は14、15、17、19、34、37、50、55にあたる文献はありません。

01 単行本

- 『京の民間医療信仰』奥沢康正 思文閣出版
『クニツピングの明治日本回想記』小関恒雄、北村智明 玄同社
『箕作阮甫、西征紀行 幕末の日露外交』木村岩治(編) 津山洋学資料館友の会
『世界病気博物誌』ゴードン、リチャード 小林武夫訳 時空出版
『ターミナル・ケアのための心身医学』河野友信編 朝倉書店

『賀川玄廸 その人の生涯』今一弥 賀川玄廸ゆかりの史跡保存会
『実学史研究Ⅶ』実学資料研究会編 思文閣出版
『日本公衆衛生史 昭和戦前期』清水勝嘉 不二出版
『医心方の伝来』杉立義一 思文閣出版
『京の医史跡探訪(増補版)』杉立義一 思文閣出版
『10年のあゆみ』津山洋学資料館友の会 津山洋学資料館友の会編
『東京歯科大学百年史』東京歯科大学百周年記念誌編纂委員会 東京歯科大学百周年記念誌編纂委員会編
『月琴新譜 長崎明清楽のあゆみ』中西啓監修・著、塚原ヒロ子編・著 長崎文献社
『麻酔法の父 ウェルズ』中原泉 デンタルフォーラム
『老いと看取りの社会史』新村拓 法政大学出版局
『日本女医史(追補)』日本女医史編集委員会 日本女医会
『医学をきづいた人びと(上)一名医の伝記と近代医学の歴史』ヌーランド,B,シャーウィン 曾田能宗訳 河出書房
『医学をきづいた人びと(下)一名医の伝記と近代医学の歴史』ヌーランド,B,シャーウィン 曾田能宗訳 河出書房
『陰陽五行説その発生と展開』根本光人(監修)、根本幸夫、根井養智 薬業時報社
『噛む 歯は生命』長谷川正康 求龍堂
『中国医学は現代科学を覆すか』林一 朝日新聞社
『讀書閒適』富士川英郎 小澤書店

『北陸における医学検査技術者教育の25年』北陸における医学検査技術者教育25年記念事業会 北陸における医学検査技術者教育25年記念事業会編
『暉峻義等 労働科学を創った男』三浦豊彦 リプロポート
『水戸市医師会史 第一巻』水戸市医師会史編纂委員会 水戸市医師会
『医人奇人 因伯の医師たち・夜話』森納 綜合印刷
『歴史からみた医療「21世紀の医療への招待」』山崎久美子編 誠信書房
『大槻玄沢の研究』洋学史研究会(編) 思文閣出版
『洋学者門人帳の分析とそのデータベース化(研究課題番号63301093)』吉田忠(研究代表者)
『原野を拓く 関寛開拓の理想とその背景』陸別町役場広報 広聴町史編さん室 陸別町役場
『図説歯科医学の歴史』リング, E・マルヴィン 谷津三雄訳 西村書店

02 医学切手・書画

「象先堂(伊藤玄朴塾)の扁額 一鯖江藩主 間部詮勝筆一」岩治勇一『福井県医師会だより』(358)46
「切手が語る医学史③・盲人の杖、点字の切手」奥沢康正『月刊保団連』(350)40-43
「切手が語る医学史④ 眼の解剖図の切手」奥沢康正『月刊保団連』(352)48-50

- 「切手が語る医学史⑤ 眼科医の切手(その1)」奥沢康正『月刊保団連』(353)46-49
- 「切手が語る医学史⑥ 眼科医の切手(その2)」奥沢康正『月刊保団連』(357)44-48
- 「切手が語る医学史⑦ 眼科医の切手(その3)」奥沢康正『月刊保団連』(358)51-53
- 「切手が語る医学史(最終回) 眼科医療器械と発明者の切手」奥沢康正『月刊保団連』(359)50-54
- 「医学切手美術館15 エイズ制圧」河瀬正晴『透析ライフ』(38)25
- 「医学切手美術館16 手術」河瀬正晴『透析ライフ』(39)25
- 「医学切手美術館17 医学と美術」河瀬正晴『透析ライフ』(40)25
- 「医学切手美術館18 予防接種」河瀬正晴『透析ライフ』(41)25
- 「医学切手美術館19 看護婦さん」河瀬正晴『透析ライフ』(42)25
- 「切手で見る血液事業42 献血」河瀬正晴『血液事業』14(1)
- 「切手で見る血液事業43 エイズ撲滅」河瀬正晴『血液事業』14(2)
- 「切手で見る血液事業44 献血」河瀬正晴『血液事業』14(3)
- 「切手で見る免疫血液学(57) H I V 感染と結核」河瀬正晴『Medical Postgraduates』29(1)80
- 「切手で見る免疫血液学(58) 医神 Asklepios」河瀬正晴『Medical Postgraduates』29(1)81
- 「切手で見る免疫血液学(59) 慢性関節リウマチ」河瀬正晴『Medical Postgraduates』29(2)67
- 「切手で見る免疫血液学(60) ペニシリンショック」河瀬正晴『Medical Postgraduates』29(2)68
- 「切手で見る免疫血液学(61) 保存血液の採血方法」河瀬正晴『Medical Postgraduates』29(3)86
- 「切手で見る免疫血液学(62) 医聖 Hippocrates」河瀬正晴『Medical Postgraduates』29(3)87
- 「切手で見る免疫血液学(63) 予防接種」河瀬正晴『Medical Postgraduates』29(4)91
- 「切手で見る免疫血液学(64) 光学顕微鏡」河瀬正晴『Medical Postgraduates』29(4)92
- 「切手で見る免疫血液学(65) 壊血病」河瀬正晴『Medical Postgraduates』29(5)63
- 「切手で見る免疫血液学(66) H I V と赤血球輸血」河瀬正晴『Medical Postgraduates』29(5)64
- 「切手で見る免疫血液学(67) 血管」河瀬正晴『Medical Postgraduates』29(5)99
- 「切手で見る免疫血液学(68) 瀉血療法」河瀬正晴『Medical Postgraduates』29(6)100
- 「切手で見る輸血学(32) ルイス・アゴータ」河瀬正晴『月刊 BLOOD』(65)
- 「切手で見る輸血学(33) イブン・アル・ナフィス」河瀬正晴

『月刊 BLOOD』(67)
「切手で見る輸血学(34)アビケンナ(イブンシーナ)」河瀬正晴『月刊 BLOOD』(69)
「切手で見る輸血学(35)チャールズ・ドルー」河瀬正晴『月刊 BLOOD』(71)
「切手に見る臨床検査 1 臨床検査の始りー尿検査ー」河瀬正晴『WAKO NEWS』(30)18
「『狂気の石』についてー十五〜十七世紀オランダ, フランドル地方の絵画に基づく一考察ー(抄)」酒井明夫 三田俊夫 道又利 石渡隆司『日本医史学雑誌』37(2)248-249
「浮世絵にみる流行病(はやりやまい)六 コレラ(基ノ二)」中原泉『Medical Tribune』24(24)25
「新切手でみる医学史」古川明『Medical Tribune』24(1-52)
「ミニ博物館 医学切手 医学と薬学① 医学・アスクレピオス/薬学・ヒギエイア」古川明『東洋薬事報』32(4)22
「ミニ博物館 医学切手 医学と薬学② 医学・ヒポクラテス/薬学・ディオスコリデス」古川明『東洋薬事報』32(5)22
「ミニ博物館 医学切手 医学と薬学③ 医学・華佗/薬学・鑑真」古川明『東洋薬事報』32(6)22
「ミニ博物館 医学切手 医学と薬学④ 医学・アメリカ医師会創立100年 “THE DOCTOR” 薬学・アメリカ薬剤師協会創立120年」古川明『東洋薬事報』32(7)22
「ミニ博物館 医学切手 医学と薬学⑤ 医学・ヴェサリウス/薬学・ガルスアドルタ」古川明『東洋薬事報』32(8)22

「ミニ博物館 医学切手 医学と薬学⑥ 医学・ハーヴィー/薬学・李時珍」古川明『東洋薬事報』32(9)22
「ミニ博物館 医学切手 医学と薬学⑦ 医学・ラブラン/薬学・ペルティエとカヴァント」古川明『東洋薬事報』32(10)22
「ミニ博物館 医学切手 医学と薬学⑧ 医学・ハンセン/薬学・大風子油」古川明『東洋薬事報』32(11)22
「ミニ博物館 医学切手 医学と薬学⑨ 医学・パストゥール/薬学・ペニシリンとフレミング」古川明『東洋薬事報』32(12)22
「ミニ博物館 医学切手 医学と薬学⑩ 医学・世界医師会/薬学・国際薬剤師連盟」古川明『東洋薬事報』33(1)22
「ミニ博物館 医学切手 医学と薬学⑪ 医学・コッホと結核/薬学・ワックスマンとストレプトマイシン」古川明『東洋薬事報』33(2)22
「ミニ博物館 医学切手 医学と薬学⑫ 医学・医学のシンボル/薬学・薬学のシンボル」古川明『東洋薬事報』33(3)22
「レンブラント画『トウルブ博士の解剖学講義』」古川明『けんさ』20(4)19-22
「文久の『はしか絵』と世相」南和男『日本歴史』(512)88-106

03 医学教育

「名古屋帝国大学設立事情」勝山吉章『名古屋大学史紀要』(2)89-120

「革新の医学教育の流れーベッドサイドティーディング，解剖講堂そして植物園ー」石田純郎『医譚』(60)3609-3616

「愛知(県)医学校・病院刊『院校報告』についての若干の考察ー『学校一覧類』の史料価値検討の一助としてー」井上知則『名古屋大学史紀要』(2)121-152

「<史料解題>愛知(県)医学校・病院刊『院校報告』についての若干の考察ー『学校一覧類』の史料価値検討の一助としてー」井上知則『名古屋大学史紀要』(2)121-152

「創立時の『済生学舎』の人脈(抄)」唐沢信安『日本医史学雑誌』37(2)269-271

「戦中戦後の医学教育史ー医学専門学校ー(抄)」酒井シヅ『日本医史学雑誌』37(2)298-299

「明治・大正の医学教育ー東京医科大学創立の背景ー」酒井シヅ『東京医科大学報』(282)4

「医学プロムナード 順天堂本郷キャンパスの建物の移り変り(4)」酒井シヅ『順天堂医学』36(4)570-576

「19世紀末から20世紀初頭の中国における女子医学教育について(抄)」三崎裕子『日本医史学雑誌』37(2)189-190

「名古屋大学史年表(Ⅰ)ー仮医学校から愛知県立医学専門学校までー」吉川卓治『名古屋大学史紀要』(2)153-169

04 医学用語

「言葉の由来50 肺・胃・腸などの語源」Wilkinson, Hugh E/伊藤裕之訳 伊藤裕之 『Johns』7(11)1664-1666

「医学史の技術用語の定義づけの試み」石田純郎『啓迪』(9)25-28

「言葉の由来48 医者と病人」岩月賢一『Johns』7(7)962-964

「点の研究 医語の流転に想う」黒川正則『ミクروسコピア』8(1)38-44

「言葉の由来49 シーボルトと間宮海峡」鈴木安恒『Johns』7(9)1226-1228

「病名の由来 子癩」深瀬泰旦『Medical Technology』19(1)19

「病名の由来 伝染性紅斑」深瀬泰旦『Medical Technology』19(2)121

「病名の由来 突発性発疹症」深瀬泰旦『Medical Technology』19(3)193

「病名の由来 第四病」深瀬泰旦『Medical Technology』19(4)303

「病名の由来 泉熱」深瀬泰旦『Medical Technology』19(5)377

「病名の由来 水頭症」深瀬泰旦『Medical Technology』19(6)473

「病名の由来 精神分裂病」深瀬泰旦『Medical Technology』19(7)745

「病名の由来 瘰癧」深瀬泰旦『Medical Technology』19(9)823

「病名の由来 萎黄病」深瀬泰旦『Medical Technology』

19(10)895
 「病名の由来 悪性貧血」深瀬泰旦『Medical Technology』
 19(11)989
 「病名の由来 鎌形赤血球貧血」深瀬泰旦『Medical Technol-
 ogy』19(12)1069
 「病名の由来 熱性痙攣」深瀬泰旦『Medical Technology』
 19(13)1147
 「用語の解説 110, ステンノン管(Stensen's duct)」宮下久夫
 『Johns』7(1)132-134

05 医師会・学会

「日本医師会小史 第83回 横浜市医師会にみる規約づくり
 -医師会前史・その29-」青柳精一『日本医師会雑誌』105(2)
 265-267
 「日本医師会小史 第84回 医師会創設時の医療料金—医師
 会前史・その30—」青柳精一『日本医師会雑誌』105(4)557
 -559
 「日本医師会小史 第85回 国家医学会と国家医学講習料—
 医師会前史・その31—」青柳精一『日本医師会雑誌』105(6)
 923-925
 「日本医師会小史 第86回 明治医会の報酬規則案—医師会
 前史・その32—」青柳精一『日本医師会雑誌』105(8)1373
 -1375
 「日本医師会小史 第87回 医療費現金徴収化への3段階—

医師会前史・その33—」青柳精一『日本医師会雑誌』105(10)
 1697-1699
 「日本医師会小史 第88回 「医料権」と「医料規約」—医
 師会前史・その34—」青柳精一『日本医師会雑誌』105(12)
 2035-2037
 「日本医師会小史 第89回 会則・規約違反の過怠金裁判—
 医師会前史・その35—」青柳精一『日本医師会雑誌』106(2)
 215-217
 「日本医師会小史 第90回 医料規約をめぐる話題(上)—医
 師会前史・その(36)—」青柳精一『日本医師会雑誌』106(4)
 619-621
 「日本医師会小史 第91回 医料規約をめぐる話題(下)—医
 師会前史・その(37)—」青柳精一『日本医師会雑誌』106(6)
 907-909
 「日本医師会小史 第92回 明治期の開業医と医学教育(そ
 の1)—医師会前史・その38—」青柳精一『日本医師会雑誌』
 106(8)1261-1263
 「日本医師会小史 第93回 明治期の開業医と医学教育(そ
 の2)—医師会前史・その39—」青柳精一『日本医師会雑誌』
 106(11)1611-1613
 「日本医師会小史 第94回 明治期の開業医と医学教育(そ
 の3)(W.ウイルスと鹿児島医学校)—医師会前史・その40—」
 青柳精一『日本医師会雑誌』106(13)1919-1921
 「『第1回精神医学・精神保健ヨーロッパ医史学会』に出席し

(123)

て」濱中淑彦『精神医学』33(6)666-669
「第32回国際医史学会会議の印象」古川明『日本医史学雑誌』
37(1)79-84

06 医史学一般

「医史学ものがたり(1)」井上清恒 内田老鶴圃
「医学史ミニ博物館(57)日本のパレ400年祭」大村敏郎『医学
のあゆみ』156(4)277
「医学史ミニ博物館(58)日仏を結ぶ石灯笼大使」大村敏郎『医
学のあゆみ』156(8)535
「医学史ミニ博物館(59)400年前の消化器外科」大村敏郎『医
学のあゆみ』156(12)803
「医学史ミニ博物館(60)日本医学会総会と歴史」大村敏郎『医
学のあゆみ』157(4)237
「医学史ミニ博物館(61)『医心方』の研究書」大村敏郎『医
学のあゆみ』157(8)483
「医学史ミニ博物館(62)京都の日本医史学会から」大村敏郎
『医学のあゆみ』157(12)701
「医学史ミニ博物館(63)皮下注射の父プラヴァエーズの生誕200
年」大村敏郎『医学のあゆみ』158(4)215
「医学史ミニ博物館(64)ブルーセの炎症論」大村敏郎『医学
のあゆみ』158(8)427
「医学史ミニ博物館(65)リュザルシュ村のサン・コーム教会」
大村敏郎『医学のあゆみ』158(13)869

「医学史ミニ博物館(66)続リュザルシュ村のサン・コーム教
会」大村敏郎『医学のあゆみ』159(4)237
「医学史ミニ博物館(67)リスフランの墓石」大村敏郎『医学
のあゆみ』159(8)505
「医学史ミニ博物館(68)ルイ・パストゥールの生地」大村敏
郎『医学のあゆみ』159(12,13)937
「日本科学史学会創立50周年記念講演 医学の現代史と生
物学」川喜田愛郎『科学史研究』(180)256-260
「医師・治療者のストレス管理 医師像の歴史の変遷」酒井
シツ『心身医療』3(6)840-845
「脳室に第三、第四脳室があって、第一、第二がないのは何
故か」酒井シツ『Clinical Neuroscience』9(6)103
「『医心方』の伝来から見た日本医学史の一側面(抄)」杉立義
一『日本医史学雑誌』37(2)173-180
「寄せ場とアルコール関連問題 日本の下層社会と酒害問題
歴史精神医学的視点から」妹尾栄一『アルコール医療研究』
8(1)9-17
「世界の医療史(91)6.革新の世紀 6-1気体化学の時代6-1-1
ブラックと固定空気」宗田一『PHARMA Medica』9(1)159
-162
「世界の医療史(92)6.革新の世紀 6-1気体化学の時代6-1-2
フロギストン理論」宗田一『PHARMA Medica』9(2)138
-142
「世界の医療史(93)6.革新の世紀 6-1気体化学の時代 6-1

-3酸素の発見」宗田一『PHARMA Medica』9(3)160-164
「世界の医療史(94)6.革新の世紀 6-1気体化学の時代 プリ
ーストリ(続-1)」宗田一『PHARMA Medica』9(4)121-125
「世界の医療史(95)6.革新の世紀 6-1気体化学の時代 プリ
ーストリ(続-2)」宗田一『PHARMA Medica』9(5)148-152
「世界の医療史(96)6.革新の世紀 6-1気体化学の時代 プリ
ーストリ(続-3)」宗田一『PHARMA Medica』9(6)158-162
「世界の医療史(97)6.革新の世紀 6-1気体化学の時代 2
人の実地医家(続)」宗田一『PHARMA Medica』9(7)178
-182
「世界の医療史(98)6.革新の世紀 6-1気体化学の時代 シェ
ーレ(続-1)」宗田一『PHARMA Medica』9(8)139-142
「世界の医療史(99)6.革新の世紀 6-1気体化学の時代 シェ
ーレ(続-2)」宗田一『PHARMA Medica』9(9)118-123
「世界の医療史(100)6.革新の世紀 6-1気体化学の時代 ラ
ヴォワジエ(続)」宗田一『PHARMA Medica』9(10)192-
196
「世界の医療史(101)6.革新の世紀 6-1気体化学の時代 燃
焼と呼吸(続)」宗田一『PHARMA Medica』9(11)126-131
「世界の医療史(102)6.革新の世紀 6-1気体化学の時代 ラ
ヴォワジエとフランス革命」宗田一『PHARMA Medica』
9(12)115-120
「『自然良能』並び『医ハ自然ノ臣僕ナリ』の出典について」
津下健哉『広島医学』44(3)511-516

「新編オランダ話くその1> エラスムスのこと」中西淳朗『保
健医の臨床』(313)42-45
「新編オランダ話くその2> 船舶のこと」中西淳朗『保健医の
臨床』(314)29-31
「新編オランダ話くその4> 絵画のこと」中西淳朗『保健医の
臨床』(316)15-18
「新編オランダ話くその6> 「自然科学史博物館から〈A〉」
中西淳朗『保険医の臨床』(318)12-15
「長屋王家跡出土木簡に見る奈良時代貴人の医と食生活への
考察(抄)」樋口誠太郎『日本医史学雑誌』37(3)446-448
「医史散歩(18)野口英世」堀内きよし『兵庫県医師会報』(446)
84-88
「医史散歩(19)鶴崎平三郎」堀内きよし『兵庫県医師会報』
(447)35-38
「医史散歩(20)寿命」堀内きよし『兵庫県医師会報』(448)27
-29
「医史散歩(21)癩」堀内きよし『兵庫県医師会報』(449)40-42
「医史散歩(22)コッホ」堀内きよし『兵庫県医師会報』(450)
36-39
「医史散歩(23)深山玄碩」堀内きよし『兵庫県医師会報』(451)
37-40
「医史散歩(24)兵庫県医会」堀内きよし『兵庫県医師会報』
(452)19-22
「医史散歩(25)堀内静一」堀内きよし『兵庫県医師会報』(453)

28-31

「特集医療における心とことばⅤ 日本における病気の歴史」
立川昭二『日本医師会雑誌』105(4)491-496

「特集医療における心とことばⅤ ヒポクラテスの医師像」
大槻真一郎『日本医師会雑誌』105(4)497-504

「特集医療における心とことばⅤ 幕末の西洋医学思想『医
戒』に学ぶ」杉本つとむ『日本医師会雑誌』105(4)505-513

「特集医療における心とことばⅤ オスラー「平静の心」に
学ぶ」日野原重明『日本医師会雑誌』105(4)514-519

「特集医療における心とことばⅥ 良心を考えるーカントに
学ぶー」坂部恵『日本医師会雑誌』106(6)851-856

「特集医療における心とことばⅥ ゲーテの死生観について」
小塩節『日本医師会雑誌』106(6)857-863

「特集医療における心とことばⅥ 不安と絶望の超越ーキル
ケゴールに学ぶー」泉治典『日本医師会雑誌』106(6)864-
868

「特集医療における心とことばⅥ 医学と哲学ーヤスパース
に学ぶー」杉田勇『日本医師会雑誌』106(6)869-874

「特集医療における心とことばⅥ 近世哲学思想と医学の諸
問題」吉村章『日本医師会雑誌』106(6)875-878

「特集医療における心とことばⅥ ユングの心理学に学ぶ」
河合隼雄『日本医師会雑誌』106(6)879-885

「特集医療における心とことばⅥ 死生観の東西比較」小田
川方子『日本医師会雑誌』106(6)886-890

07 医の倫理

「英語の諺に表現される医の教訓 Health について」加藤幸一
『湘南短期大学紀要』2(1)25-35

「欧米における医学倫理の教育・啓蒙活動の現状」酒井明夫
『医事学研究』(5)171-188

「死の歴史」酒井シヅ、河野友信編『ターミナル・ケアのた
めの心身医学』朝倉書店 15-25

「歴史にみる病人のこころ」酒井シヅ『大阪透析研究会会誌』
9(1)1-8

08 医療器械

「顕微鏡のはなし補遺(抄)」上瀉口武、萩原義郷、嶋村昭辰
『日本歯科医史学会々誌』17(4)244-245

「心電図モニターの歴史」後藤敏之、岡島光治『臨床モニタ
ー』2(2)71-77

「胃癌に対する内視鏡的治療 歴史と特徴」竹本忠良、相部
剛『消化器外科』14(7)817-819

「大腸内視鏡検査の概略 歴史、前処置、挿入から最近の進
歩まで」田島強『日本医師会雑誌』105(3)360-363

09 医療制度史・医療史

「病院医療の質の改善 アメリカにおける医療評価の歴史と
現状(1)ジョイントコミッションの歴史的発展」Jessee
William F.『病院』50(6)484-489

「診療報酬物語 76 関東大震災と医師会の対応」青柳精一『ばんぶう』(1月号)

「診療報酬物語 77-78 『法定日本医師会』の誕生(上)―(下)」青柳精一『ばんぶう』(2月,3月号)

「診療報酬物語 79-80 健保法成立までの道のり(その一)―(その二)」青柳精一『ばんぶう』(4月,5月号)

「米国の呼吸療法士制度 歴史と現状」大村昭人『Clinical Engineering』2(2)109-113

「江戸幕府の医療制度に関する史料(五)―文政度『官医分限』―」香取俊光『日本医史学雑誌』37(3)417-430

「いま、なぜ戦後医療技術史か(2)ハイテクノロジーとローテクノロジーとの共存」上林茂暢『病院』50(8)686-690

「日本の医療史(68)『重訂解体新書』と大槻玄沢」酒井シヅ『薬事新報』(1622)83-86

「占領期における医薬分業論争史(第1報)―G.H.Q 文書による検証―(抄)」杉田聡『日本医史学雑誌』37(2)300-302

「明治初期の御雇外国人医学教師関係法について(抄)」高安伸子『日本医史学雑誌』37(2)258-259

「医療海外文献に関する12章①専門医制度」野村拓『月刊保団連』(362)68-72

「医療海外文献に関する12章②医師・患者関係」野村拓『月刊保団連』(364)61-65

「医療海外文献に関する12章⑤保健医療政策」野村拓『月刊保団連』(369)70-74

「医療海外文献に関する12章⑥病院論あれこれ」野村拓『月刊保団連』(372)56-60

「昭和医療史30 医療運動起る」野村拓『月刊保団連』(339)88-91

「昭和医療史36 公的責任からの脱走」野村拓『月刊保団連』(350)90-93

「昭和医療史37 供給抑制へ」野村拓『月刊保団連』(352)84-87

「昭和医療史最終回 「棄民」対「人権」」野村拓『月刊保団連』(353)72-75

10 衛生・公衆衛生史

「黎明期の労働衛生史97 野呂景義(8)下村孝太郎(上)」乾修然『労働衛生ジャーナル』(178)2

「黎明期の労働衛生史98 野呂景義(9)下村孝太郎(下)」乾修然『労働衛生ジャーナル』(179)2

「黎明期の労働衛生史99 野呂景義(10)外人技術者(上)」乾修然『労働衛生ジャーナル』(181)3

「黎明期の労働衛生史100 野呂景義(11)外人技術者(下)」乾修然『労働衛生ジャーナル』(182)2

「黎明期の労働衛生史101 野呂景義(12)製鉄合同」乾修然『労働衛生ジャーナル』(183)2

「黎明期の労働衛生史102 野呂景義(13)今泉嘉一郎(上)」乾修然『労働衛生ジャーナル』(184)2

「黎明期の労働衛生史103 野呂景義(14)今泉嘉一郎(中)」乾修然『労働衛生ジャーナル』(185)2

「黎明期の労働衛生史104 野呂景義(15)今泉嘉一郎(下)」乾修然『労働衛生ジャーナル』(186)2

「じん肺史の一断面—ウイルヒョウ説を中心に—(抄)」梶田昭『日本医史学雑誌』37(2)292-293

「神奈川県下事業場における傷病休業統計の歴史(会議室)」佐藤信一『産業医学』33(4)266-267

「日本における公衆衛生の芽生え(一)—福井藩の上水施設—」白崎昭一郎『北陸医史』12(1)32-33

「アスベストの労働衛生問題(1)過去 これまでの石綿研究の歴史から(会議録)」瀬良好澄『産業医学』33(7)606

「スロイスの『健康学』に学ぶ(抄)」橋本和夫 『北陸医史』12(1)24-31

「文明は病気変える 23—29」松藤元『労働衛生ジャーナル』(175-186)3

「明治時代における砲兵工廠の労働衛生調査」松藤元『労働科学』67(2)64-72

「明治時代の労働衛生学」松藤元『労働科学』67(3)102-108

「労働衛生学の先駆者窪川忠吉の生涯とその著書「工業衛生学」」松藤元『労働科学』67(10)481-494

「石綿の健康影響の歴史(二) —石綿肺・肺癌—」三浦豊彦『科学医学資料研究』(201)1-7

「呼吸保護の歴史(二)—徳川時代の鉱山の呼吸保護—」三浦

豊彦『科学医学資料研究』(206)5-12

「呼吸保護の歴史(三)—十九世紀からの呼吸保護—」三浦豊彦『科学医学資料研究』(209)1-7

「自然と人工環境 —快適環境のフォークロア— 第Ⅳ部 環境」三浦豊彦『労働科学』67(1)21-35

「自然と人工環境 —快適環境のフォークロア— 第Ⅴ部 環境汚染・環境破壊」三浦豊彦『労働科学』67(4)163-184

「自然と人工環境 —快適環境のフォークロア— 第Ⅵ部 気温と人間」三浦豊彦『労働科学』67(5)235-255

「自然と人工環境 —快適環境のフォークロア— 第Ⅶ部 労働科学研究所の温熱環境の研究」三浦豊彦『労働科学』67(7)375-388

「自然と人工環境 —快適環境のフォークロア— 第Ⅷ部 温熱環境とアメニティ」三浦豊彦『労働科学』67(8)525-542

「続サテライト通信13 何歳まで生きればよいか」三浦豊彦『労働の科学』46(1)30-31

「続サテライト通信14 今世紀はじめの呼吸保護具」三浦豊彦『労働の科学』46(2)98-99

「続サテライト通信15 写経生や書記の病気」三浦豊彦『労働の科学』46(3)156-157

「続サテライト通信16 ロボット」三浦豊彦『労働の科学』46(4)190-191

「続サテライト通信17 アセチレン法アセトアルデヒド製造と水俣病」三浦豊彦『労働の科学』46(5)250-251

「続サテライト通信18 短い睡眠、長い睡眠と健康」三浦豊彦『労働の科学』46(6)310-311

「続サテライト通信19 敗戦忌」三浦豊彦『労働の科学』46(8)458-459

「続サテライト通信20 まだまだ火山は生きている」三浦豊彦『労働の科学』46(9)514-515

「日本の大気汚染の歴史(抄)」三浦豊彦『日本医史学雑誌』37(2)289-291

「目で見る労働と健康の歴史(その8)―倉敷労働科学研究所の創立のころ―」三浦豊彦『労研維持会資料』(1282-1283)

「目で見る労働と健康の歴史(その9)―大正末の労働衛生―」三浦豊彦『労研維持会資料』(1298-1299)

11 解剖学史

「解体新書にみる脈管学(13)～(18最終)」大城孟『Medical Postgraduates』29(1-6)27-50,94-117,162-185,254-277,346-369,454-477

「脳切片標本 その開発の歴史長所、短所」津本忠治『医学のあゆみ』157(11)617-620

「寛政二年・明石畑山の解剖について」中原百枝『啓迪』(9)12-14

「藤林普山訳『解屍篇』について―森田千庵署名(印)入り写本より―(抄)」長谷川一夫『日本医史学雑誌』37(2)217-219

「解剖図の歴史 第11回 プラスティネーションされた人体」

布施英利、養老孟司『医療'90』6(11)12

12 眼科史

「江戸時代(末期)の白内障手術症例報告 ―『白内翳手術人名実験録』から―(抄)」奥沢康正『日本医史学雑誌』37(2)233-234

「近視・遠視・老視の病名史」奥沢康正『日本の眼科』62(5)637-654

「低眼圧緑内障歴史と概念」北沢克明、山本哲也『あたらしい眼科』8(4)493-500

「文庫の窓から 和蘭眼科新書(その3・完)」中泉行信、中泉行史、斎藤仁男『臨床眼科』45(1)86-87

「眼科むかしばなし(11)真珠散」飛見立郎『薬局』42(5)735-739

13 看護史

「『京都看病婦学校設立趣旨』について(抄)」渋谷敏, 谷津三雄『日本医史学雑誌』37(2)262-264

「『京都看病婦学校設立の演説』について(抄)」渋谷敏, 谷津三雄『日本医史学雑誌』37(2)265-267

「看護と看護教育小史―その東西比較―」石田純郎『新見女子短期大学紀要』(12)1-16

「看護の発展 看護と歴史」氏家幸子『からだの科学』(増刊8)26-32

- 「明治期の精神病看護学書と看護(抄)」荻野妙子, 金川克子
『北陸医史』12(1)11-16
- 「日本における看護教育の歴史」亀山美知子『看護 MOOK』
(37)11-19
- 「ナイチンゲールは看護婦なのか 再評価と新生 生まれ変わるナイチンゲール」斎藤友博『からだの科学』(159)113-119
- 「ウィリアム・アンダーソンと東京慈恵医院看護婦教育所の看護婦留学生について」平尾真智子『医譚』(60)3601-3608
- 「産業看護の歴史・目的・方法論」前田和子『公衆衛生』55(2)82-88

16 軍陣医学史

- 「陸軍看病人について(抄)」黒澤嘉幸『日本医史学雑誌』37(2)267-269
- 「『横浜軍陣病院の日記』を再読して(抄)」中西淳朗『日本医史学雑誌』37(2)252-254
- 「日本海軍医科士官の歴史(VI)一軍縮の時代一(抄)」山崎智
『日本歯科医史学会々誌』17(4)261-262

18 外科史

- 「腹壁異常 臍帯ヘルニア・腹壁破裂の治療の歴史と現状」岡松孝男『小児外科』23(7)715-721
- 「ローレッツが係わる車夫傷害事件の診断書」小関恒雄『犯

罪学雑誌』57(3)98-100

- 「原沢文仲『青洲先生問書』と伊藤震山『春林軒隨筆』による華岡青洲乳癌手術記録の再検討(抄)」蒲原宏『日本医史学雑誌』37(2)211-214
- 「膵管胆道合流異常研究の歴史と展望」古味信彦『小児内科』23(6)881-886
- 「中国医学書の乳癌の記事」酒井シヅ『Mamma 11月』(11月)表2
- 「乳房全摘術」酒井シヅ『Mamma 12月』(10月)表2
- 「人工心臓の発達史(抄)」藤倉一郎、藤倉美耶子『日本医史学雑誌』37(2)294-295

20 産婦人科史

- 「胎児仮死診断の歴史」池ノ上克『ペリネイタルケア』9(定期増刊)5-9
- 「助産婦の歴史(89)～(99) 近代の助産婦(59)～(69)」石原力『ペリネイタルケア』10(1-11)71-72,158-160,237-239,340-341,434-435,511-513,642-643,719-721,798-799,897-899,989-991
- 「周産期医療の過去・現在・未来 母子保健行政の歴史と今後の展望」福渡靖『周産期医学』21(1)125-129

21 歯学史

- 「四方文吉著『真健康之基礎』について(抄)」池田かのり、

清澤美智子、渋谷鈺、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』17(4)246-247

「大阪府における学校歯科(抄)」石橋肇、金城喜代美、渋谷鈺、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』17(4)263

「東京歯科医学専門学校歯科学叢書の書誌学(その12)～第14編花沢鼎・杉山不二著齒槽膿漏の局所療法について～(抄)」太田実、竹島弘道、熱田俊之助、白川尚、森山徳長『日本歯科医史学会々誌』17(4)241-242

「東京歯科医学専門学校歯科学叢書の書誌学的綜括(抄)」太田実、長谷川正康、森山徳長、石川達也、『日本歯科医史学会々誌』17(4)238-240

「江戸末期に伝えられた矯正歯科一外科必読に見られた術式紹介一」大野肅英、新藤恵久『日本歯科医史学会々誌』17(3)173

「東京勧業博覧会の歯科出品物第1報歯科器材について」大橋正敬、西山實『日本歯科医史学会々誌』17(4)274-275

「水窪のツゲ(抄)」小沢亨司、新藤恵久『日本歯科医史学会々誌』17(3)176

「軍陣歯科学(第6報)(抄)」落合俊輔、金子賢司、谷津三雄、新国俊彦『日本歯科医史学会々誌』17(3)185-186

「ホワイト著『口腔と歯』と桐村克己訳『歯乃養生法』の関係についての比較書誌学的研究(抄)」春日芳彦、森山徳長、小幡哲夫、塩津二郎『日本歯科医史学会々誌』17(4)268-269

「四方文吉述『通俗乳歯の心得』について(抄)」金子守男、

村木春長、大場重信、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』17(4)250

「四方文吉著述『保歯要訣完』について(抄)」金城喜代美、吉村宅弘、渋谷幸男、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』17(4)248-249

「緒方富雄著『血清学の領域から』並びに「理論血清学」について(抄)」上瀉口武、嶋村昭辰『日本歯科医史学会々誌』17(4)273-274

「野口英世の歯科医学叢談・歯科学報投稿論文について(抄)」亀谷博昭、森山徳長、塩津二郎、真木吉信、奥田克爾『日本歯科医史学会々誌』17(4)259-260

「高山歯科医学院の校舎・設備について(抄)」亀谷博昭、森山徳長、白川尚、石川達也、長谷川正康『日本歯科医史学会々誌』17(3)192-193

「高山歯科医学院編 カラーアトラス付第五神経解剖篇の書誌学(抄)」亀谷博明、古屋嘉雄、市ノ川武、森山徳長『日本歯科医史学会々誌』17(4)240-241

「『骨製歯刷子を特に主張する学理的根拠』について(抄)」金城喜代美、吉田和子、渡辺有子、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』17(3)200-201

「シンポジウム『歯科医学概論のルーツを探る』一佐藤運雄の歯科医学概論一」工藤逸郎『日本歯科医史学会々誌』17(3)160-165

「石黒忠恵『外科説約』およびアグニュー著鳥谷部政人訳『外

科新論」歯科治療法について(抄)』小坂剛也、森山徳長、太田実、長谷川正康『日本歯科医史学会々誌』17(3)173-175

「今田歯科口腔外科医院発行の小冊子『口腔衛生』について(抄)』佐久間優、金城喜代美、濱野和代、谷津三雄、今田喬士『日本歯科医史学会々誌』17(3)199-200

「四方文吉著「歯牙養生法完」について(抄)』佐久間優、山口秀紀、谷津三雄、滝口久『日本歯科医史学会々誌』17(4)247-248

「古代人頭骨を診る(抄)』佐藤守『日本歯科医史学会々誌』17(4)243-244

「『太平聖恵方』における口腔軟組織疾患の分類について(抄)』佐藤恭道、別部智司、戸出一郎、雨宮義弘『日本歯科医史学会々誌』17(4)271

「歯科に関する医学博士(抄)』渋谷敏、池田直、谷津三雄、滝口久『日本歯科医史学会々誌』17(3)188-189

「第7回日本医学会にみられる歯科分科会の内容(抄)』渋谷敏、渋谷幸男、藤井敏博、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』17(3)186-187

「第8回日本医学会にみられる歯科分科会の内容(抄)』渋谷敏、渋谷幸男、藤井敏博、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』17(4)255

「歯科用蒸和ゴムの歴史について(抄)』下総高次『日本歯科医史学会々誌』17(3)177-178

「縄文人と古代メキシコ原住民にみられる歯科風俗について

(抄)』新藤恵久、大貫泰男『日本歯科医史学会々誌』17(3)190-191

「中原実と西欧中世歯科器具(抄)』新藤恵久、大貫泰男『日本歯科医史学会々誌』17(4)274

「絵島・生島事件と御蔵島のツゲ(抄)』新藤恵久、新藤勝之『日本歯科医史学会々誌』17(4)252

「御蔵島のツゲ(抄)』新藤恵久、新藤勝之『日本歯科医史学会々誌』17(3)177

「中原市五郎と児童正食会(抄)』新藤恵久、鈴木雄司『日本歯科医史学会々誌』17(3)184-185

「中原市五郎の児童正食会の終焉(抄)』新藤恵久、鈴木雄司『日本歯科医史学会々誌』17(4)262

「長野県諏訪の入歯師(抄)』新藤恵久、長谷川弥『日本歯科医史学会々誌』17(3)175-176

「縄文人と古代メキシコ原住民にみられる歯科風俗について(抄)』新藤恵久、大貫泰男『日本歯科医史学会々誌』17(3)190-191

「説文解字にみる歯学概論(抄)』杉本茂春『日本歯科医史学会々誌』17(3)189-190

「アンプロワズ・パレの歯科口腔病医学(抄)』高山直秀『日本歯科医史学会々誌』17(3)202

「ピエール・フォシャル著『歯科外科医』一函版の異同について一」高山直秀『科学医学資料研究』(206)1-5

「昭和8年奥村鶴吉が内務省に提出した歯科材料に関する調査

報告書とその後の展開(抄)」竹島弘道、森山徳長、松本実、栗山美子、長谷川正康『日本歯科医史学会々誌』17(3)210-211

「東京歯科大学校章・校旗制定の経緯について(抄)」田辺明、森山徳長、熱田俊之助、太田実、石川達也、長谷川正康『日本歯科医史学会々誌』17(3)181-183

「四方文吉述『通俗齲歯乃豫防法』について(抄)」土屋裕子、池田かのり、金子賢司、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』17(4)249-250

「口腔衛生普及セット—1953年版—(抄)」土屋裕子、清澤美智子、武田和久、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』17(3)195-196

「木床義歯について(抄)」筒井正弘『日本歯科医史学会々誌』17(4)235

「敦煌壁画にみる歯科習俗 —楊枝と揩齒—」陶粟嫻、中原泉『日本歯科医史学会々誌』17(2)108-113

「旧制および新制東京歯科大学進学課程開設とその後の発展(抄)」戸沢行夫、中山誠、金光秀明、石川達也、長谷川正康『日本歯科医史学会々誌』17(3)179-180

「シンポジウム島峯徹の歯科医学概論(抄)」戸出一郎『日本歯科医史学会々誌』17(3)168-172

「『聖濟総録』口歯門における口腔軟組織疾患の分類について(抄)」戸出一郎『日本医史学雑誌』37(2)181-182

「Bennet 運動の再評価(抄)」永田和弘『日本歯科医史学会々

誌』17(4)242-243

「方輿輿と歯科について(抄)」西巻明彦、屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』17(4)270-271

「腹證と歯痛について(抄)」西巻明彦、屋代正幸、飯淵良幸、百瀬深志『日本歯科医史学会々誌』17(3)217

「腹證と歯痛について」西巻明彦、屋代正幸、湯浅高之、植木清二、飯淵義久、飯淵良幸、江端巖、内藤尚孝、立浪昭夫、佐沢史朗『日本歯科医史学会々誌』17(3)142-146

「明治期における歯科医事法の変遷(抄)」野田寛『日本歯科医史学会々誌』17(4)233-234

「京都・ぬりこべ地蔵(抄)」蓮見壽伯『日本歯科医史学会々誌』17(3)215-216

「発見された中原市五郎のギージーへの手紙(抄)」長谷川弥、新藤恵久『日本歯科医史学会々誌』17(3)183

「フオッサマグナとツゲの道(抄)」長谷川弥、新藤恵久『日本歯科医史学会々誌』17(4)251-252

「東京歯科大学専門学校の学制・教科書・教授陣等について(その1)」長谷川正康、森山徳長、石川達也、高添一郎、金竹哲也『日本歯科医史学会々誌』17(2)89-96

「東京歯科大学大学院創設とその発展について(抄)」長谷川正康、森山徳長、石川達也、高添一郎、金竹哲也『日本歯科医史学会々誌』17(4)237-238

「新制東京歯科大学の学制・教科書・教授陣などについて(抄)」長谷川正康、森山徳長、石川達也、高添一郎、金竹哲也『日

本歯科医史学会々誌』17(3)180-181

「クラスプの発展と変遷、および我が国に於ける無鐵着線鈎の考案者について(抄)」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』17(3)178-179

「クラスプの発展と変遷および我が国に於ける無鐵着線鈎の考案者について」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』17(4)289-298

「Movable Clasp について(抄)」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』17(4)251

「野口英世纂訳「病理学的細菌学的研究術式綱要 全」の書誌学(抄)」福本裕、森山徳長、奥田克爾、高添一郎『日本歯科医史学会会誌』17(3)213-214

「東京歯科医学院で野口英世が講義した歯科法医学について(その2)(抄)」福本裕、森山徳長、塩津二郎、奥田克爾、高添一郎『日本歯科医史学会々誌』17(4)257-258

「野口英世纂訳『病理学的細菌学的検究術式綱要 全』の書誌学」福本裕、森山徳長、奥田克爾、高添一郎『日本歯科医史学会々誌』18(1)9-14

「Wilhelm Busch の風刺画“Der hohle Zahn” について(抄)」別部智司、佐藤恭道、戸出一郎、雨宮義弘『日本歯科医史学会々誌』17(4)254

「『聖濟総録』における口腔軟組織疾患の分類について(抄)」別部智司、戸出一郎、雨宮義弘、佐藤恭道『日本歯科医史学会々誌』17(4)271-272

「明治28年歯科医学会編『歯牙保護論』の書誌学(抄)」松本実、田辺明、栗山美子、森山徳長、石川達也『日本歯科医史学会々誌』17(4)269-270

「東洋女子歯科医学専門学校(抄)の寄宿舍の規則(抄)」馬渡亮司、武藤優子、金子守雄、谷津三雄、『日本歯科医史学会々誌』17(3)194-195

「風流今様曾我について(その3)(抄)」本山佐太郎『日本歯科医史学会々誌』17(3)208-209

「東京歯科医学専門学校『歯科学講義』の書誌学」森山徳長、石川達也、長谷川正康『日本歯科医史学会々誌』17(2)103-107

「明治43年花沢鼎著の病理組織学書3部作の書誌学(抄)」森山徳長、太田実、小幡哲夫、竹島弘道、西尾宏英『日本歯科医史学会会誌』17(3)211-212

「歯科器械学から一補缺術一技術学一技工学一補綴学への名称の変遷(その1)」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』17(4)283-288

「シンポジウム『血脇守之助の歯科医学概論』(抄)」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』17(3)166-167

「『血脇守之助の歯科医学概論』」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』17(4)277-282

「明治初～中期発行口腔衛生啓蒙書の比較書誌論(その1)」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』18(1)1-4

「東京歯科医学院講義録(第二輯)『歯科医学講義』および(第

三輯)『新纂歯科学講義』の書誌」森山徳長、石川達也、長谷川正康『日本歯科医史学会々誌』17(2)97-102

「東京歯科医学専門学校歯科学叢書第5編奥村鶴吉・遠藤至六郎共著『最近歯科技工学』の書誌学」森山徳長、小幡哲夫、白川尚、熱田俊之介、亀谷博昭、市之川武『日本歯科医史学会々誌』17(3)131-135

「東京歯科医学専門学校歯科学叢書第4編川上為次郎纂著『歯科薬治学』の書誌学」森山徳長、西尾宏英、亀谷博昭、市之川武『日本歯科医史学会々誌』17(3)127-130

「東京歯科医学院で野口英世が講義した歯科法医学について(その1)」森山徳長、福本裕、太田実、熱田俊之介『日本歯科医史学会々誌』18(1)5-8

「雑誌『口腔保健』と日本歯科医史学会々誌」谷津三雄、渋谷敏、石橋肇、今田喬士『日本歯科医史学会々誌』17(3)152-157

「第11回日本医学会第31部(歯科学)分科会」谷津三雄、渋谷敏、石橋肇、弓削朝子『日本歯科医史学会々誌』17(3)147-151

「東京歯科医学専門学校の校地・建物の変遷について(抄)」山岸東太郎、森山徳長、石川達也、長谷川正康『日本歯科医史学会々誌』17(4)236-237

「東京歯科医学院の校舎・設備について(抄)」山岸東太郎、森山徳長、石川達也、古屋嘉男、市之川武、『日本歯科医史学会々誌』17(3)193-194

「京都における学校歯科医に関する二、三の資料について(抄)」山口秀紀、石橋肇、武藤ゆう、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』17(4)265-266

「福島尚純著『袖珍外科総論』(抄)」山口秀紀、大場重信、村木春長、谷津三雄、今田喬士『日本歯科医史学会々誌』17(3)175

「京都における学校歯科医について(抄)」吉井秀壽、石橋肇、渋谷敏、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』17(4)264-265

「『ライオン歯磨の発達』について(抄)」吉井秀壽、出地弘、栗山稔、谷津三雄、今田喬士『日本歯科医史学会々誌』17(3)196-198

「昭和25年における『愛知県学校保健概況』(抄)」吉村宅弘、坂本嘉久、米長悦也、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』17(3)198-199

22 史跡・記念碑

「野口英世箕面銅像、搬送・除幕者と由来板の変遷」石原理年『医譚』(60)3591-3600

「偉大な組織学の先駆者フランツ・フォン・ライディッヒの墓を訪ねて」猪口哲夫『ミクロスコピア』8(1)26-29

「都下医家名墓散策(22) 幕府医官林恒斎とその子孫」小曾戸洋『漢方の臨床』38(1)97-100

「都下医家名墓散策(23) 幕府医官伴道与とその子孫」小曾戸洋『漢方の臨床』38(7)866-868

「都下医家名墓散策(24) 幕府医官岡了節」小曾戸洋『漢方の臨床』38(9)1132-1134

「都下医家名墓散策(25) 御蔵島に流された奥山玄長」小曾戸洋『漢方の臨床』38(11)1347-1349

「湯島聖堂の神農祭と少彦名神社「神農さん」の神農祭について(抄)」小林一日出、湯浅高之、植木清二、藤野瑠男、斎藤憲一、西村好一、西卷明彦、屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』17(4)267-268

「探訪 医の民俗13 蘇民祭(黒石寺)」立川昭二『東洋薬事報』32(4)18-20

「探訪 医の民俗14 お化粧地藏(王鳳寺)、おしろい地藏(幡龍寺)、とろけ地藏(大円寺)」立川昭二『東洋薬事報』32(5)18-20

「探訪 医の民俗15 撫べこ(千手院)／蛇神さま(薬師神社)」立川昭二『東洋薬事報』32(6)18-20

「探訪 医の民俗16 やすらい祭(今宮神社)／粟嶋堂」立川昭二『東洋薬事報』32(7)18-20

「探訪 医の民俗17 みみだれ観音(妙楽寺)／塩地藏(大長寺)／赤地藏」立川昭二『東洋薬事報』32(8)18-20

「探訪 医の民俗18 鏡焼地藏(来迎寺)、手長神社、足長神社」立川昭二『東洋薬事報』32(9)18-20

「探訪 医の民俗19 大和ぼっくり寺」立川昭二『東洋薬事報』32(10)18-20

「探訪 医の民俗20 椎尾薬師／子の権現」立川昭二『東洋

薬事報』32(11)18-20

「探訪 医の民俗21 めやみ地藏(仲源寺)、洗い地藏(寿延寺)、八坂庚申堂」立川昭二『東洋薬事報』32(12)18-20

「探訪 医の民俗22 池島殿(宮崎八幡宮)、太郎左近社、熱の神様(三柱神社)」立川昭二『東洋薬事報』33(1)18-20

「探訪 医の民俗23 佐奈田霊社／齒吹如来(本誓寺)／とんがらし地藏(興全寺)」立川昭二『東洋薬事報』33(2)18-20

「探訪 医の民俗24 紙張地藏、へちま薬師(東允寺)、明眼院」立川昭二『東洋薬事報』33(3)18-20

「『湯島聖堂に祭祀される神農像をめぐって』(抄)藤野瑠男、手塚裕文、斎藤憲一、西村好一、小林一日出、飯淵義久、植木清二、湯浅高之、荒井照夫、屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』17(3)216-217

「湯島聖堂に祭祀される神農像について」湯浅高之、藤野瑠男、手塚裕文、斎藤憲一、西村好一、小林一日出、飯淵義久、植木清二、荒井照夫、百瀬深志、西卷明彦、屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』17(3)136-141

23 疾病史

「がんの探究—100年の歴史(上)はじめに」乾修然『労働衛生ジャーナル』(186)4

「がんの探究—100年の歴史(中)1951～1970年、1970～1980年」乾修然『労働衛生ジャーナル』(187)2

「がんの探究—100年の歴史(下)1981年以降～現在」乾修

然『労働衛生ジャーナル』(190)4
「気管支喘息の歴史 疾患・病因の概念と治療の変遷について」高橋昭三『医学のあゆみ』159(9)533-535
「肺病・サナトリウム・転地療養—結核の比較文化史—」福田真人『名古屋大学言語文化学部言語文化論集』8(1)1-53
「横浜における疫病の変遷」星野重二『横浜医学』42(4)365-373
「日本らい史(61)最終回」山本俊一『多磨』(2月)2-6
「めまい そのメカニズムと臨床 医学史」渡辺勇『内科』68(3)407-411
「医療今昔物語—学説・診療の変遷—37. 珪肺」三浦豊彦『臨床科学』27(1)119-125
「医療今昔物語—学説・診療の変遷—38. 植皮術」星栄一『臨床科学』27(2)239-247
「医療今昔物語—学説・診療の変遷—39. 高脂血症」山本章『臨床科学』27(3)378-390
「医療今昔物語—学説・診療の変遷—40. アルツハイマー病」西村健『臨床科学』27(4)523-527
「医療今昔物語—学説・診療の変遷—41. うつ病」岡田靖雄『臨床科学』27(5)642-648
「医療今昔物語—学説・診療の変遷—42. 骨髄腫(myeloma)」蒲原宏『臨床科学』27(6)771-782
「医療今昔物語—学説・診療の変遷—43. 虫垂炎」古川明『臨床科学』27(7)901-909

「医療今昔物語—学説・診療の変遷—44. 漢方の真価と限界1)—西洋医学との歴史的背景の相違を中心に—」熊谷朗『臨床科学』27(8)1031-1036
「医療今昔物語—学説・診療の変遷—45. 漢方の真価と限界2)—主要古典とその理論—」小曾戸洋『臨床科学』27(10)1417-1424
「医療今昔物語—学説・診療の変遷—46. 腸炎ビブリオ」藤野恒三郎『臨床科学』27(11)1575-1584
「医療今昔物語—学説・診療の変遷—47. 熱帯病」佐々学『臨床科学』27(12)1723-1730

24 耳鼻咽喉科史

「古典あれこれ A.G.Bell と耳鼻咽喉科」貝塚侑『Johns』7(2)254-257
「古典あれこれ 耳小骨はいつから三つになったのか」廣瀬肇『Johns』7(4)506-508
「古典あれこれ フリースの説」堀内正敏『Johns』7(8)1102-1103
「古典あれこれ Ambrose Pare と耳鼻咽喉科学」犬山征夫『Johns』7(10)1364-1366

25 種痘史

「米沢藩北条郷における安政二年の種痘実施—『諸事記録』より(抄)」船山道隆『日本医史学雑誌』37(2)232-233

「桑田立斎の上申書について」正橋剛二、篠原治道『医譚』
(60)3627-3632

26 獣医学史

「G.ラモンの生い立ちとその業績(抄)」海老沢功『日本獣医学雑誌』(27)5-8

「日本大学獣医学科のあゆみ(抄)」桑原志都夫『日本獣医学雑誌』(27)44-45

「江戸期における牛病治療の資料的研究(抄)」島田謙造『日本獣医学雑誌』(27)46-49

「馬経大全の書誌学的研究(その二)和版『新刻針醫參補馬経大全』の実験的復刻」白水完児『日本獣医学雑誌』(27)9-17

「『及彼』(豚解剖書)の研究について(抄)」末田尚『日本医学雑誌』37(2)214-216

「『奥の細道』馬の尿考」中井薫『日本獣医学雑誌』(27)18-25

「『隼人の狗吠について』(続)」中井薫『日本獣医学雑誌』(27)36-43

「『牛馬問』は獣医学ではない(抄)」中井薫『日本獣医学雑誌』(27)50-51

「日本に於ける牛の第一胃切開手術について一付。牛の創傷性心嚢炎の治療手術一」宮沢正憲『日本獣医学雑誌』(27)26-35

27 書 簡

「Ein Ostindianisches Sendschreiben-Andreas Cleyers Brief an Sebastian Scheffer vom 20. Dezember 1683」Wolfgang Michel『独仏文学研究』(41)15-98

28 書 誌 学

「池田文書の研究(五)」池田文書研究会『日本医学雑誌』37(3)431-443

「池田文書の研究(六)」池田文書研究会『日本医学雑誌』37(4)625-647

「『リテイカ』一解説と全訳一(「オルフェウスの鉱石讃歌」として知られる神秘的ギリシア詩の紹介)」小林晶子『明治薬科大学研究紀要』(21)1-61

「『醫心方』一日本現存最古医書 1.『醫心方』之撰述」杉立義一『Journal of Chinese Medicine』2(1)20-28

「青木昆陽より徳川幕府への提出書物一『大岡越前守忠相日記』より一」向井晃『東海大学紀要課程資格教育センター』(1)19-29

「奥国船 Joseph und Theresia 号船医の航海日誌より」安田純一『医譚』(61)3681-3686

29 小 児 科 史

「東大病院小児科に於ける人工呼吸管理の歴史と医療観の変遷(会議録)」阿部知子、他『脳と発達』23(Suppl.)173

- 「『小児全書』(1857年刊)について」石田純郎『岡山県小児科
医学会報』(12)17-24
- 「育児を考える 岩手県における乳幼児保育の歴史」畠山富
而『日本小児科医学会報』(6)62-68
- 「新生児医療のあゆみ(第6話)レスピレーターの歴史」馬場
一雄『NICU』4(1)54-56
- 「『真斎謾筆』の小児門について(抄)」広田曄子『日本医史学
雑誌』37(2)219-221
- 「子どもと医史学27 アレルギー その3」深瀬泰旦『教育
医事新聞』(77)14
- 「子どもと医史学28—30 20世紀初頭ウインの小児科学(1)
～(3)」深瀬泰旦『教育医事新聞』(79)16, (80)16, (81)
17
- 「子どもと医史学31 血液型の発見」深瀬泰旦『教育医事新
聞』(82)18
- 「子どもと医史学32 新生児溶血症」深瀬泰旦『教育医事新
聞』(83)14
- 「子どもと医史学33 核黄疸の予防 その1」深瀬泰旦『教
育医事新聞』(86)16
- 「子どもと医史学34 核黄疸の予防 その2」深瀬泰旦『教
育医事新聞』(87)13
- 「子どもと医史学35 体質性黄疸(1)」深瀬泰旦『教育医事
新聞』(88)11

30 神経学史

- 「神経内科で扱う疾患 神経内科の歴史と神経内科で扱う疾
患」荒木淑郎『ブレインナーシング』7(6)467-473
- 「メニンジオーマの基礎 メニンジオーマ治療の歴史」古和
田正悦『Clinical Neuroscience』9(3)250-251
- 「神経伝達物質の研究史(5)レヴィー・キャノン・デールの世
界」佐野豊『ミクروسコピア』8(1)198-203
- 「神経伝達物質の研究史(6)新たな旗手 フォン・オイラーを
迎えて」佐野豊『ミクロスコピア』8(4)240-245

31 診断学史

- 「大腸内視鏡検査の歴史と最新の進歩」田島強『Therapeutic
Research』2(2)275-282

32 整形外科史

- 「手術のアメリカ学会、その歴史、目的、及び組織(抄・英
文)」Milford Lee W.『日本の手の外科学会雑誌』7(5)917
-921
- 「整形外科を育てた人達(89)岩原寅猪教授(1901-1988)」天児
民和『臨床整形外科』26(1)49-52
- 「整形外科を育てた人達(90)Silas Weir Mitchell(1829-
1914)」天児民和『臨床整形外科』26(2)185-187
- 「整形外科を育てた人達(91)島啓吾教授(1911-1974)」天児民
和『臨床整形外科』26(3)279-281

「整形外科を育てた人達(92) Robert Merle D'Aubigne(1900—1989)」天児民和『臨床整形外科』26(5)647-649

「整形外科を育てた人達(93) 東 陽一教授(1897-1990)」天児民和『臨床整形外科』26(6)769-771

「整形外科を育てた人達(94) John Haddy James(1788-1860)」天児民和『臨床整形外科』26(7)837-839

「整形外科を育てた人達(95) John Charnleg(1911-1982)」天児民和『臨床整形外科』26(8)948-950

「整形外科を育てた人達(96) Max zur Verth(1847-1941)」天児民和『臨床整形外科』26(9)1039-1041

「整形外科を育てた人達(97) Robert Kienboeck(1871-1953)」天児民和『臨床整形外科』26(10)1196-1198

「整形外科を育てた人達(98) Michael Livingood Mason(1895-1963)」天児民和『臨床整形外科』26(11)1286-1288

「整形外科を育てた人達(99) Alfred Baring Garrod(1819-1907)」天児民和『臨床整形外科』26(12)1376-1378

「創外固定の歴史、種類、特長および適応」井上四郎『整形外科 別冊』(19)2-6

「人工関節の歴史」奥村信二『理学療法』8(1)5-14

「初期変形性股関節症の治療 初期変形性股関節症の手術的治療の歴史」二ノ宮節夫『整形・災害外科』34(10)1275-1280

「腰部の instrumentation の歴史と動向」渡辺秀男『整形外科 別冊』(20)2-5

33 精神医学史

「ラテンアメリカ精神分析運動の歴史と現状」井上カーレン 果子『精神分析研究』35(2)150-158

「コンサルテーション・リエゾン精神医学 日本における歴史と現状」春日武彦、黒沢尚『精神科 MOOK』(27)15-20

「こころの科学を創った人びと(4) アドラー早期回想と夢解釈によるライフスタイル診断の確立」中河原通夫『こころの科学』(36)109-115

「こころの科学を創った人びと(3) クレペリン精神病像のためまぬ探求とその分類の定礎者」西丸四方『こころの科学』(35)117-123

「コンサルテーション・リエゾン精神医学 米国における歴史と現状」保坂隆『精神科 MOOK』(27)8-14

「精神科看護史の諸問題」岡田靖雄『日本医史学雑誌』37(3)321-347

「過去 45 年間の一精神病院における入院患者の死亡率および死因について(抄)」小池清廉『日本医史学雑誌』37(2)302-303

「『精神病理学』雑感」濱中淑彦『精神医学』33(10)1038-1039

「モーブリー：Insanizy(1872年)(部分)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(21)1-8

「千鶴斎先生『奇方秘録』(1830年)より『狐付たるを落とすに』」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(21)9-10

「中神琴溪『生生堂医譚』より(完結)」『呉秀三先生記念精神

科医療史資料通信』(21)11-16
「緒方洪菴訳『扶氏経験遺訓より』(完結)』『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(21)17-23
「佐々木政吉『髪截症三患者ノ報道』(完結)』『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(21)24-34
「『保健衛生調査会第一回報告書』より(完結)』『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(21)35-36
「『現代日本朝日人物辞典』をみる』『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(21)37
「主張 『生存権の否定』にいかにか抗すべきか」吉岡真二『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(21)38
「生活療法の回想—小林八郎先生にうかがう—」『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(21)別冊
「様筋通丸湯 中風不発用心薬 中風御様之妙薬 広告文」
『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(22)1-7
「榑俣『精神病患者ノ書類集』(その1)』『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(22)8-15
「川村貞四郎『精神病者ノ取扱』(1926)(その1)』『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(22)16-22
「救治会パムフレット『精神病に関する常識及精神病入院の手引』(1932)(その1)』『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(22)23-29
「精神厚生会会報 第2号(1947)(1)』『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(22)30-32

「主張 国の精神科医療政策は正義に反する」吉岡真二『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(22)38-40
「社会精神医学と私—加藤正明先生にうかがう」『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(22)別冊
「癡狂小説、精神論—」新宮誠二『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(23)1-3
「精神病患者の書類集(二)」榑俣『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(23)4-12
「血液ノ類属的構造ニ就テ」原來復、小林榮『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(23)13-15
「精神病者ノ取扱(二)」川村貞四郎『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(23)16-25
「救治会パムフレット『精神病に関する常識及精神病入院の手引』(その2)』『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(23)26-33
「精神厚生会会報 第2号(完)』『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(23)34-36
「南孝夫先生 松ヶ岡保養院・東京都精神衛生課のことなど」
『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(23)別冊

53 西洋医学史

「ヨーロッパの医史学の現況について」石田純郎『日本医史学雑誌』37(4)591-609
「クワック(Quack)とは何か?—オランダ連邦共和国時代の

巡回医療職について」石田純郎、フランク・ハウスマン『医譚』(61)3671-3679

「オランダ医学史の旅からII 『小さな巨人』の業績」岩崎次郎『月刊保団連』(365)50-54

「ギリシャ医学からアラビア医学へ シリア・ヘレニズム」加藤静雄『医学の門』31(1)44-47

「ギリシャ医学からアラビア医学へ(6)アラビア・ルネッサンス(8~9世紀)」加藤静雄『医学の門』31(2)92-96

「ギリシャ医学からアラビア医学へ(7)アラビア・ルネッサンス(10~12世紀)」加藤静雄『医学の門』31(3)156-160

「ギリシャ文明の誕生(22)アラビア医学から西洋医学へ(5)12世紀ルネッサンス」加藤静雄『医学の門』31(4)245-249

「ギリシャ文明の誕生(23)アラビア医学から西洋医学へ 医学校、大学の役割」加藤静雄『医学の門』31(5)308-312

「十三世紀南イタリア(シチリア王国)の医療法(一)一(二)」宗田一『科学医学資料研究』(205,206)9-11,12-14

「イギリスの医学雑誌の盛衰-1830・40年代のロンドン医学(二)一」松下正明『科学医学資料研究』(209)8-12

36 生化学史

「ビタミンD研究の歴史 その発見から臨床応用まで」須田立雄『腎と透析』30(6)841-846

38 地方史

「幕末維新期の富山藩医学史」赤祖父一知『医譚』(61)3647-3655

「福山藩の医人たち(続)」江川好雄『広島医学』44(4)677-680

「医人伝 福山藩の医人たち」江川義雄『広島医学』44(2)350-356

「福山藩医学校並びに同仁病院と医人たち(抄)」江川義雄『日本医史学雑誌』37(2)234-236

「近代医学と横浜 近代医学の流れを中心にして」大滝紀雄『横浜医学』42(2)177-181

「『福岡藩奥御番医龜鑑』について(抄)」木下勤『日本医史学雑誌』37(2)223-225

「豊橋地方の種痘史」竹内孝一『現代医学』38(3)595-602

「横浜医史雑話(抄)」中西淳朗『神奈川医学会雑誌』18(1)142

「医の資料館(4)三重 濟世録と折肱録・本居宣長記念館」西来武治『Medical News』(316)14-17

「医の資料館(5)茨城 河口信任の『解屍編』・古河歴史博物館」西来武治『Medical News』(317)14-17

「医の資料館(6)東京 麦飯男爵・高木兼寛史料室」西来武治『Medical News』(318)15-18

「医の資料館(7)福島 人類のために生き、人類のために死す野口英世記念館」西来武治『Medical News』(319)14-17

「医の資料館(8)富山 先用後利・富山の売薬資料館」西来武治『Medical News』(320)14-17

- 「因伯の蘭学事始」森納『鳥取県医師会報』(435-438)33-34, 25-27, 42-44, 56-60
- 「郷土医史 明治の鹿児島医学史(その39)」森重孝『鹿児島市医報』30(2)50-52
- 「郷土医史 明治の鹿児島医学史(その40)」森重孝『鹿児島市医報』30(3)28-30
- 「郷土医史 明治の鹿児島医学史(その41)」森重孝『鹿児島市医報』30(5)40-42
- 「郷土医史 明治の鹿児島医学史(その42)」森重孝『鹿児島市医報』30(6)31-34
- 「郷土医史 明治の鹿児島医学史(その43)」森重孝『鹿児島市医報』30(9)45-47
- 「郷土医史 明治の鹿児島医学史(その44)」森重孝『鹿児島市医報』30(10)68-71
- 「郷土医史 明治の鹿児島医学史(その45)」森重孝『鹿児島市医報』30(11)49-50
- 「郷土医史 明治の鹿児島医学史(その46)」森重孝『鹿児島市医報』30(12)71-74
- 「尾張藩領の産物帳について」山本祐子『愍齋研究会だより』(55)2-9
- 「地域の医史学(1)『地域の医学史』研究序説」松木明知『日本医史学雑誌』37(4)477-492
- 「地域の医史学(1)京都における医史学研究史(1)」杉立義一『日本医史学雑誌』37(4)493-511

- 「地域の医史学(1)因伯における牛痘接種の初め」森納『日本医史学雑誌』37(4)513-533
- 「地域の医史学(1)肥後の医育教育と村井家」浜田善利『日本医史学雑誌』37(4)535-566
- 「地域の医史学(1)坪井芳洲と薩摩藩」泉彪之助『日本医史学雑誌』37(4)567-582
- 「地域の医史学(1)南遠地域の医の近代化の拠点としての玄聖講」舟木茂夫『日本医史学雑誌』37(4)583-590

39 治療史

- 「作業療法への定着に何が必要か 米国における75年の歴史が教えてくれるもの(抄)」Kielkofner Gary Wayne『作業療法』10(2)46
- 「生活技能訓練(social skills training)の歴史と我が国に於ける現状」池淵恵美、安西信雄『作業療法ジャーナル』25(5)324-329
- 「治療の歴史 心理療法」池見西次郎『治療学』25(7)849-852
- 「再生不良性貧血の治療の歴史と今後の展望」浦部昌夫『治療学』25(12)1537-1539
- 「高気圧酸素治療の歴史 過去・現在・未来」浦山博『新医療』18(5)116-119
- 「新しい抗精神病薬の使用をめぐる 抗精神病薬の開発と治療の歴史」風祭元『新薬と治療』41(4)2-3
- 「病名・病状を伝える終末医療における真実告知 理念・歴

史・問題点」木村利人『ターミナルケア』1(1)88f-886
「周産期医療の過去・現在・未来 人口肺サーファクタント
補充療法 開発の歴史と今後の展望」河野寿夫『周産期医
学』21(1)111-114
「移植免疫 歴史の現状、将来」小林英司、鎌田直司『BIOTH-
ERAPY』5(9)1521-1530
「緑膿菌ワクチンの歴史と現状」滝上正『日本臨床』49(10)
2410-2415
「臨床工学技士の誕生 歴史・法律・現状」中野恵『Clinical
Engineering』2(7)386-388
「化学療法を支えた人々 カスガマイシン」浜田雅、岡見吉
郎『化学療法の領域』7(10)1980-1983
「日本におけるペインクリニックの発展」兵頭正義『東洋医
学とペインクリニック』21(1-2)16-26
「離島『巡回』診療における患者とのかかわりで見える18年の
実践の歴史から(会議録)」前田盛えりこ他4名『病院・地
域精神医学会総会34回抄録集』170
「治療の歴史 閉塞性動脈硬化症の治療」三島好雄『治療学』
25(1)129-132
「細菌の薬剤耐性 歴史、発生遺伝学及び生化学(会議録)(英
文)」Mitsuhashi Susumu『日本鼻科学会誌』30(1)34
「密封小線源治療の歴史と展望」森田皓三『日本医事新報』
(3506)13-18
「治療の歴史 肝炎ワクチンの開発」森次保雄『治療学』25(8)

977-980
「消化性潰瘍の胃散分泌抑制剤の見直し 潰瘍剤の開発の歴
史と現状」安浦義曜、西元寺克礼『医薬ジャーナル』27(8)
1690-1696
「プロスタグランジン製剤 プロスタグランジン研究の歴史」
山本尚三『クリニカ』18(6)261-265

40 伝 記

「アヴィセンナ医学の歌[5]」志田信男『伝承と医学』(5)4-
14
「アヴィセンナ医学の歌[6]」志田信男『伝承と医学』(6)4-
13
「伝記『青木周弼』の補訂」田中助一『日本医史学雑誌』37(2)
191-193
「反骨精神の徒赤尾醉仙翁について(抄)」長谷川俊夫『日本
歯科医史学会々誌』17(3)206-207
「歴史閑話 明治期漢方医学最後の巨頭 浅田宗伯」深瀬泰
旦『MEDIC』26(11)表紙
「足利義満と流行病」中島陽一郎『薬の知識』42(8)16-17
「愆齋『医説』の再考」遠藤正治『愆齋研究会だより』(52)
2-6
「嘉永期の飯沼愆齋I」遠藤正治『愆齋研究会だより』(54)
2-6
「高富藩士伴家宛の愆齋書簡VI」遠藤正治『愆齋研究会だよ

り』(54)7
「飯沼愨齋『林氏訳稿』断片の検討(1)」松田清『愨齋研究会だより』(53)1-9
「宇田川榛齋(玄真)病状記とその1年」幸田正孝、下山純正『洋学資料による日本文化史の研究』(IV)99-133
「榕庵と化学：気の化学的解釈—化学元素命名の背景を探る—考察—」柴田和子『洋学資料による日本文化史の研究』(IV)135-147
「宇田川榕庵の『スプレングル語彙』について」高橋輝和『洋学資料による日本文化史の研究』(IV)149-172
「オランダの社会福祉協会(共益社)と宇田川榕庵(その4)」幸田正孝『津山洋学資料館友の会だより』(18)4-5
「緒方洪庵の西洋医学知識のヨーロッパにおける学統について」石田純郎『洋学資料による日本文化史の研究』(IV)21-39
「緒方洪庵の短歌の考察」大友信一『洋学資料による日本文化史の研究』(IV)41-59
「歴史閑話 わが国で人痘接種法を成功させた 緒方春朔」深瀬泰旦『MEDIC』26(2)表紙
「小野玄入について(抄)」本山佐太郎『日本歯科医史学会々誌』17(4)251
「カスバル・シャムベルゲルの『弔辞』について」ヴォルフガング・ミヒェル『日本医史学雑誌』37(4)615-623
「名医列伝 華岡青洲が目標にした名外科医 華佗」蔵方宏昌『ばんぼう』(119)178-179

「桂川甫筑と御蔵島(抄)」新藤恵久『日本医史学雑誌』37(2)210-211
「先達医家の肖像<39>Santiago Ramony Cajal(1852-1934)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(315)表3
「楠本・米山家資料にみる楠本いねの足跡」福井英俊『鳴滝紀要』(創刊号)261-277
「蘭癖大名朽木昌綱伝余滴」沼田次郎『日本歴史』(512)107-109
「江戸坪井塾時代の黒川良安について(抄)」津田進三『北陸医史』12(1)56-61
「黒川良安先生共訳の『医理学源』の序文」正橋剛二、篠原治道(故)松田健史『北陸医史』12(1)45-53
「黒川良安に関する資料集成」寺畑喜朔、津田進三『北陸医史』12(1)73-80
「黒川良安に関する新発見(一)(抄)」多留淳文『北陸医史』12(1)41-44
「黒川良安の履歴について(抄)」高瀬重雄『北陸医史』12(1)8-10
「『北陸医史』第十二巻第一号誌の発刊に寄せて 黒川良安(自然)先生伝研究のアプローチ」加藤豊明『北陸医史』12(1)1-7
「ケルスス『医学論』[翻訳](5)」石渡隆司『医事学研究』(5)149-170
「Algemeine Welthistorie 中の「日本国史」における医学上

の記述—ケンペル『日本史』との比較—」安田純一『医
譚』(61)3639-3646
「名医列伝 日本を客観的に伝えた最初の西洋人 ケンペル」
蔵方宏昌『ばんぶう』(121)186-187
「かつて慈恵に在学した興味ある人物(その二) 脚気菌」に
憑かれた小久保恵作」松田誠『東京慈恵会医科大学雑誌』
106(4)723-732
「歴史閑話 日本の外科を欧米の水準に引き上げた 近藤次
繁」深瀬泰旦『MEDIC』26(4)表紙
「佐伯理一郎・再論(抄)」長門谷洋治『日本医史学雑誌』37(2)
276-278
「佐伯理一郎と京都(三)—第十回日本医学会総会・他—」長
門谷洋治『啓迪』(9)20-24
「Ph. Fr. フォン・シーボルト晩年の書翰(1)」石山禎一『鳴
滝紀要』(創刊号)111-142
「シーボルトの日誌「漁村小瀬戸への調査の旅(草稿)」につ
いて」宮坂正英『鳴滝紀要』(創刊号)143-162
「シーボルトと雑記帳48補遺(5)イギリス公使館の若者(V)新政
府制度を進言」吉岡達夫『東洋薬事報』32(4)24-26
「シーボルトと雑記帳49 補遺(6)イギリス公使館の若者(VI)伊
藤博文を援助する」吉岡達夫『東洋薬事報』32(5)24-26
「シーボルトと雑記帳50 鳴滝回想・条約改訂」吉岡達夫『東
洋薬事報』32(6)24-26
「シーボルトと雑記帳51父の伝記を執筆・若き妻を亡くす」吉

岡達夫『東洋薬事報』32(7)24-26
「シーボルトと雑記帳52 三国干渉への批判」吉岡達夫『東洋
薬事報』32(8)24-26
「シーボルトと雑記帳53 日本の冷たい仕打アレキサンダー逝
去」吉岡達夫『東洋薬事報』32(9)24-26
「シーボルトと雑記帳54 シーボルトの知人間宮林蔵(I)」吉
岡達夫『東洋薬事報』32(10)24-26
「シーボルトと雑記帳55 シーボルトの知人間宮林蔵(II)」吉
岡達夫『東洋薬事報』32(11)24-26
「シーボルトと雑記帳56 シーボルトの知人間宮林蔵(III)」吉
岡達夫『東洋薬事報』32(12)24-26
「シーボルトと雑記帳57 シーボルトの知人間宮林蔵(IV)」吉
岡達夫『東洋薬事報』33(1)24-26
「シーボルトと雑記帳58 シーボルトの知人間宮林蔵(V)」吉
岡達夫『東洋薬事報』33(2)24-26
「シーボルトと雑記帳59 シーボルトの知人間宮林蔵(VI)」吉
岡達夫『東洋薬事報』33(3)24-26
「ハインリッヒ・フォン・シーボルト」クライナー・ヨーゼ
フ『鳴滝紀要』(創刊号)202-236
「E. Jenner の著作の書誌学とその経年的追跡(抄)」塩津二郎、
森山徳長、奥田克爾、高添一郎『日本歯科医史学会々誌』
17(3)214-215
「四方文吉と著書(抄)」谷津三雄、落合俊輔、滝口久、新国
俊彦『日本歯科医史学会々誌』17(4)245-246

「シドニ・リンガーと治療学(抄)」栗本宗治『日本医史学雑誌』37(2)243-245

「島邨俊一小伝—悲運の精神病学者—(抄)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』37(2)236-238

「島村鼎甫—その業績と記録—」津下健哉『日本医史学雑誌』37(2)286-288

「下平用彩(1863-1924)—その生涯と業績—」長門谷洋治『北陸医史』12(1)34-39

「米医 D.B.シモンズ(II)—福沢諭吉の書簡よりみたるアメリカにおけるドクトル・シモンズ」荒井保男『日本医史学雑誌』37(3)365-390

「ドクトル・シモンズから市大医学部の草創まで(会議録)」荒井保男『横浜医学』42(2)181-187

「歴史閑話 尿蛋白定量法を開発した 末吉雄治」深瀬泰旦『MEDIC』26(10)表紙

「聖賢・丹波康頼像について(その1)本拠地をめぐるナゾ(抄)」北出利勝他4名『全日本鍼灸学会雑誌』41(1)48

「名医列伝 漢方の方剤学を集大成 孫思邈」蔵方宏昌『ばんふう』(120)166-167

「高峰讓吉博士のお墓と略歴(抄)」中村俊雄『北陸医史』12(1)19-23

「名医列伝 古医書の復刻に尽した考証学者 多紀元堅」蔵方宏昌『ばんふう』(116)166-167

「五百羅漢と館玄龍」館秀夫『北陸医史』12(1)17-18

「親康家文書について」杉立義一『啓迪』(9)1-5

「ペニシリンを薬とした人 Sir Chain について」松本慶蔵『化学療法の領域』7(7)1336-1337

「坪井信良(旧姓)佐渡良益年譜」加藤豊明『北陸医史』12(1)62-72

「坪井信良(旧姓)佐渡良益年譜(抄)」加藤豊明『北陸医史』12(1)62-72

「坪井芳洲と薩摩藩(抄)」泉彪之助『日本医史学雑誌』37(2)230-231

「ツンベルク ウプサラ紀行」石田純郎『医譚』(60)3633-3637

「暉峻義等没後二十五年に寄せて(抄)」寺畑喜朔『日本医史学雑誌』37(2)296-298

「歴史閑話 労働科学生みの親 暉峻義等」深瀬泰旦『MEDIC』26(7)表紙

「十束井齋の一面」舟木茂夫『いちわどり』(19)60-67

「西洋マッサージの開祖長瀬時衡」中山沃『洋学資料による日本文化史の研究』(IV)61-97

「幕末明治初期における感染症の予防 G.B.Newton の業績について(会議録)」深瀬泰旦『横浜医学』42(2)187-190

「神戸を訪れた野口英世」石原理年『医譚』(61)3663-3670

「野口英世の師、渡辺鼎の業績(抄)」石原理年『日本医史学雑誌』37(2)273-275

「人と時代 書きなおされる『女の一生』野口英世の妻メリー」飯沼信子『ミコロスコピア』8(3)160-166

「名医列伝 関西蘭学の創始者 橋本宗吉」蔵方宏昌『ばんぶう』(115)186-187

「名医列伝 赤十字病院を創設し軍医制度を確立 橋本綱常」蔵方宏昌『ばんぶう』(125)162-163

「歴史閑話 橋本病の発見者 橋本策」深瀬泰旦『MEDIC』26(6)表紙

「名医列伝 京都で医学校を造った宮廷医 畑黄山」蔵方宏昌『ばんぶう』(117)170-171

「名医列伝 梅毒の特効薬を発見 秦佐八郎」蔵方宏昌『ばんぶう』(126)134-135

「名医列伝 生物学の偉大な啓蒙家 T.H.ハックスリー」蔵方宏昌『ばんぶう』(124)162-163

「原志免太郎先生の思い出」三木栄『日本医事新報』(3511)67

「日本とフランスのアンプロワズ・パレ四百年祭を巡って(抄)」大村敏郎『日本医史学雑誌』37(2)239-241

「日本の脳研究者たち 平澤興1900-1989年」新見嘉兵衛『Brain Medical』3(1)87-90

「クレメンス・フォン・ピルケー」大島智夫『科学医学資料研究』(207)1-12

「郷土広島にみられる富士川游の世界」江川義雄『日本医史学雑誌』37(1)3-15

「富士川游と雑誌」富士川英郎『日本医史学雑誌』37(1)47-56

「富士川游先生没後 50 年に寄せて」宗田一『日本医史学雑誌』37(1)57-58

「富士川游先生を偲んで」赤松金芳『日本医史学雑誌』37(1)59

「富士川游先生との巡り合い」田中助一『日本医史学雑誌』37(1)60-61

「富士川游先生、私への教え、思い出」三木栄『日本医史学雑誌』37(1)62-63

「富士川游先生を想う」山形敵一『日本医史学雑誌』37(1)64

「特集 富士川游先生没後50年 富士川游先生の言葉」赤松金芳『安佐医師会会報』(59)7-17

「特集 富士川游先生没後50年 Vita brevis Ars longa」桐原慈孝『安佐医師会会報』(59)18-19

「特集 富士川游先生没後50年 富士川游先生と郷土愛」下野岩太『安佐医師会会報』(59)20-21

「特集 富士川游先生没後50年 富士川游先生没後五十年に寄せて」酒井シヅ『安佐医師会会報』(59)22-27

「特集 富士川游先生没後50年 富士川游の交遊関係」江川義雄『安佐医師会会報』(59)28-33

「特集 富士川游先生没後50年 富士川游先生と山県医人」末田尚『安佐医師会会報』(59)34-35

「特集 富士川游先生没後50年 富士川游先生の「ことば」」藤井和夫『安佐医師会会報』(59)36-37

「特集 富士川游先生没後50年 8ミリ映画「富士川游」作成にあたって」沖野宏敬『安佐医師会会報』(59)38-40

「特集・富士川游先生没後50年 『富士川游先生没後50年

記念会』東京で開催される」桑原正彦『安佐医師会会報』(59)41-44

「特集 富士川游先生没後50年 富士川游先生について感ずること」中川和夫『安佐医師会会報』(59)45-50

「特集 富士川游先生没後50年 富士川游先生没後50年記念事業を顧みて」土井達郎『安佐医師会会報』(59)51-53

「富士川游没後五十年の記念会を開催して」酒井シツ『科学医学資料研究』(203)1-6

「先達医家の肖像<36>Edouard Brown-Sequard(1817-1894)」酒井シツ『MEDICAL DIGEST』(312)表3

「歴史閑話 血液型研究の第一人者 古畑種基」深瀬泰旦『MEDIC』26(5)表紙

「広瀬旭荘門人『古谷道庵』(抄)」末中哲夫『日本医史学雑誌』37(2)225-227

「先達医家の肖像<38>Pierre Paul Broca(1824-1880)」酒井シツ『MEDICAL DIGEST』(314)表3

「名医列伝 日本で風土的医学研究をした内科医 ヘルツ」蔵方宏昌『ばんぼう』(118)166-167

「ヘルツの明治九年の日本奥地旅行」小関恒雄『日本医史学雑誌』37(3)403-406

「先達医家の肖像<37>Claude Bernard(1813-1878)」酒井シツ『MEDICAL DIGEST』(313)表3

「ヘルマン・プショフの生涯とその業績(抄)」ヴォルフガング・ミヒェル『日本医史学雑誌』37(2)245-247

「高比重液による脊椎麻酔の先駆者朴蘭秀の生涯(抄)」松木明知『日本医史学雑誌』37(2)285

「ポンペ・ファン・メールデルフォールト」大滝紀雄『科学医学資料研究』(200)8-12

「曲直瀬道三の『薬性能毒』について(抄)」宗田一『日本医史学雑誌』37(2)201-203

「女医マリーエリザベス・ザクルゼスガに関する年表」岡山寧子、依田和美『大阪府立看護短期大学紀要』13(1)105-110

「名医列伝 考証派医学の先駆者 目黒道琢」蔵方宏昌『ばんぼう』(122)144-145

「モーニッケ種痘の直弟子 長崎の町医師 柴田方庵」井下田純『埼玉県医師会誌』(490)38-49

「鷗外のドレスデン時代の逸文」小関恒雄『日本医事新報』(3519)59-61

「丸山ワクチンと脚気論争—森鷗外の『医療犯罪』—」志田信男『伝承と医学』(6)29-38

「山村樅次郎小伝(第1報)(抄)」長谷川正康『日本歯科医史学会々誌』17(3)205-206

「名医列伝 世界に先駆け『脈無し病』を報告 山本鹿洲」蔵方宏昌『ばんぼう』(123)170-171

「再説胃腸病院 湯川玄洋」長門谷洋治『日本医事新報』(3481)117-118

「鍼灸老舗の人々15—20 その三—吉田多市—③—⑧」上地栄『医道の日本』50(7-12)135-140,136-140,135-139,137-

142, 148-153, 138-143

「Dr. Albrecht von Roretz に関するオーストリア国内の文献について(3)」小形利彦『日本大学山形高等学校・中学校研究紀要』(15)1-8

「アルブレヒト・フォン・ローレンツ考(二)第一節形成の土壤—履修記録—」田中英夫『名古屋大学史紀要』(2)1-24

「アルブレヒト・フォン・ローレンツ考(三)第二節日本探検旅行—博物学探検家への志向—」田中英夫『名古屋大学史紀要』(2)25-88

「魯迅日記における医療—第二報医療関係者・医療機関—」泉彪之助『福井県立短期大学研究紀要』(16)1-13

41 伝 記(双)

「絵島・生島事件と御蔵島」新藤恵久『日本医史学雑誌』37(3) 391-402

「大沢謙二と大沢岳太郎家の家系」竹内孝一『現代医学』39(1) 173-178

「医薬つれづれ抄(3)緒方洪庵とポンペ」藤田孟『くすり博物館だより』(24)3

「オランダ商館長としーぼるとの江戸参府」片桐一男『鳴滝紀要』(創刊号)92-110

「杉田玄白の絶筆と河口信順」川島恂二『古河市医師会報』(23)7-10

「関口家ハインリッヒ資料の研究(1)」関口忠志『鳴滝紀要』

(創刊号)237-260

「医心伝診14 多紀家の系譜」みどりの編集部『みどり』6(2) 20-21

「長崎家所蔵の医学関係写本目録」寺畑喜朔『医譚』(61)3657-3662

「医心伝診13 千住の名倉の系譜」みどりの編集部『みどり』6(1)20-21

「医心伝診16 華岡青洲の系譜 伝統の術を独創で実証」みどりの編集部『みどり』6(4)20-21

「富士川游・呉秀三両先生の間—友情と医学史研究—」岡田靖雄『日本医史学雑誌』37(1)17-32

「富士川游と土肥慶蔵」長門谷洋治『日本医史学雑誌』37(1) 33-46

「ブランデンシュタイン城の『三人の日本しーぼると』の遺産」ツエツペリン, C.フォン, ブランデンシュタイン『鳴滝紀要』(創刊号)52-91

「ブランデンシュタイン家文書(Brandenstein-Archiv)史料」ウド・バイライス、宮坂正英『鳴滝紀要』(創刊号)163-201

「かつて慈恵に在学した興味ある人物その3 最初の女子学生・松浦里子と本多鈴子」松田誠『東京慈恵会医科大学雑誌』106(2)387-396

「松下見林とその師古林見宜(抄)」岡田安弘『日本医史学雑誌』37(2)199-200

「眼科医丸尾興堂の家系(抄)」丸尾馨、奥沢康正『日本医史

学雑誌』37(2)288-289

「山口玄洞とその一族先人の業績・続篇—山口左仲・山口寿一—」江川義雄『医譚』(60)3617-3622

「吉田長淑『駒谷吉田方鑑』と蘭館医レツツケとについて(抄)」津田進三『日本医史学雑誌』37(2)208-210

「魯迅の医師たち」泉彪之助『しにか』2(9)39-43

「ワグネルと島津源蔵(抄)」下総高次『日本歯科医史学会々誌』17(4)25-276

42 伝染病史・防疫史

「EXPERIMENT VERSUS TRADITION Pompe von Meerdervoort- Ogata Koan and the medical treatment of Asiatic cholera」Bevkers. Harm『洋学資料による日本文化史の研究Ⅳ(吉備洋学資料研究会)』(4)3-20

「インフルエンザのすべて インフルエンザの歴史」清水一史『化学療法の領域』7(10)1879-1886

43 東洋医学史

「ギリシャから現代までの西洋医学と比較したインド医,学の特徴」MEULENBELD, Gerrit Jan 矢野道雄『科学医学資料研究』(210)1-12

「ギリシャから現代までの西洋医学と比較したインド医学の特徴(承前)」MEULENBELD, Gerrit Jan, 矢野道雄『科学医学資料研究』(211)1-7

「漢方史探訪 34回 仏寺と医療」赤堀昭『小太郎漢方 News』(11.12月号)

「尾台土超墓碑銘 脚注」荒木ひろし『漢方の臨床』38(5)605-611

「『金陵遺稿』の著者芳野金陵と尾台榕堂」荒木ひろし『漢方の臨床』38(5)601-604

「呉茱萸について(抄)」飯淵義久、手塚裕文、湯浅高之、荒井照夫、飯淵良幸、百瀬深志、西巻明彦、屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』17(4)266-267

「是動病と所生病の史的研究(抄)」猪飼祥夫『全日本鍼灸学会雑誌』41(1)49

「敦煌文書『輔行訣臟腑用薬法要』と『傷寒論』」猪飼祥夫『漢方の臨床』38(3)336-348

「『類聚方広義』散見その三」笠原栄司『漢方の臨床』38(12)1453-1455

「『飲膳正要』に関する考察 —聚珍異饌を中心として—」加藤伊都子『日本医史学雑誌』37(2)182-184

「『五雲子先生伝』・『森氏由緒書』翻印」香取俊光『漢方の臨床』38(10)1233-1245

「熊胆ウルソその歴史・現状、そして将来」木谷健一『日本医事新報』(3491)26-31

「漢方史景39~43 カゼ症侯群(6)一(10)」蔵方宏昌『漢方診療』(50-55)12-13,60-61,10-11,20,13

「現存する『啓迪集』の古鈔本について(抄)」小曾戸洋『日

本医学雑誌』37(2)197-199
「目でみる漢方史料館(37)尾台榕堂の『学思齋存稿』と『閑窓筆録』」小曾戸洋『漢方の臨床』38(3)300-302
「目でみる漢方史料館(39)尾台榕堂の手沢本」小曾戸洋『漢方の臨床』38(5)532-534
「目でみる漢方史料館(40)国宝仁和寺『黄帝内経太素』」小曾戸洋『漢方の臨床』38(6)668-670
「目でみる漢方史料館(42)元・大徳本『聖濟総録』」小曾戸洋『漢方の臨床』38(8)924-926
「目でみる漢方史料館(43)道三遺愛の『玉機微義』」小曾戸洋『漢方の臨床』38(9)1052-1054
「目でみる漢方史料館(44)玄朔の刊行した『玉機微義』」小曾戸洋『漢方の臨床』38(10)1180-1182
「目でみる漢方史料館(45)片倉鶴陵の自筆草稿類」小曾戸洋『漢方の臨床』38(11)1288-1290
「目でみる漢方史料館(46)和田東郭の遺墨」小曾戸洋『漢方の臨床』38(12)1392-1394
「森家伝来史料の翻印にあたって」小曾戸洋『漢方の臨床』38(10)1228-1232
「和刻本漢籍医書総合年表—書名索引—」小曾戸洋『日本医学雑誌』37(3)407-415
「新出の国宝仁和寺本『医心方』零葉 一卷十九第五十九葉—」小曾戸洋、杉立義一『日本医学雑誌』37(1)74-78
「目でみる漢方史料館(36)浅井図南の墨竹画」小曾戸洋、矢

数道明『漢方の臨床』38(1)1-4
「『医心方』所引の『延寿赤書』について(抄)」坂出祥伸『日本医学雑誌』37(2)193-196
「『導引口訣鈔』にみる病伝の文献的解釈について(抄)」坂本秀治、市川太郎『日本医学雑誌』37(2)250-252
「主として卒死、卒忤、鬼撃、卒魘、鬼魅、猫鬼、などについて(その一)『郷薬集成方』第五十三巻より」杉山広重『漢方の臨床』38(12)1438-1443
「中国医学における経絡経穴の変遷(抄)」高島文一『日本医学雑誌』37(2)167-172
「生きている伝統医学—東アジアの現状—」津谷喜一郎『国際交流』(56)59-66
「ポストン伝統医学十景〈序幕〉」津谷喜一郎『漢方の臨床』38(6)739-745
「ポストン伝統医学十景〈第二幕〉」津谷喜一郎『漢方の臨床』38(7)869-875
「ポストン伝統医学十景〈第三幕〉」津谷喜一郎『漢方の臨床』38(8)990-996
「ポストン伝統医学十景〈終幕〉」津谷喜一郎『漢方の臨床』38(9)1122-1131
「江戸期における中国医学の受容 鍼灸関係舶載書と復刻書(会議録)」友部和弘『日本東洋医学雑誌』42(1)93
「療術としての按腹(腹とり)の歴史(抄)」中村昭『日本医学雑誌』37(2)187-189

「原南陽『陰証百聞』答評」西岡一夫『漢方の臨床』38(11)
1296-1307
「療治十九方と腹診について(抄)」西巻明彦、新藤恵久『日
本歯科医史学会々誌』17(4)267
「北京の中医学の現状について(抄)」別部智司『日本歯科医
史学会々誌』17(3)191
『『医方口訣集』をめぐって』松本一男『漢方の臨床』38(12)
1410-1422
『『本草綱目』の伝来と金陵本(抄)』真柳 誠『日本医史学雑
誌』37(2)203-205
「目でみる漢方史料館(38)人參代往古銀」真柳誠『漢方の臨
床』38(4)420-422
「目でみる漢方史料館(41)薬種切手」真柳誠『漢方の臨床』
38(7)788-790
「温知荘雑筆 戦時中運営されていた「日本医師生薬利用組
合」と組員名簿」矢数道明『漢方の臨床』38(3)361-363
『『先哲医家名鑑』の再追補録』矢数道明『漢方の臨床』38(4)
464-476
「南拜山翁と東洋医道会」矢数道明『漢方の臨床』38(10)1249
-1252
「曲直瀬道三の医学について(会議録)」矢数道明『日本東洋
医学雑誌』42(1)49-50
「奥田鳳作の腹診書(上)」横田観風『漢方の臨床』38(9)1086
-1094

「奥田鳳作の腹診書(下)」横田観風『漢方の臨床』38(10)1216
-1223
「中国医学と道教(X I 金瓶梅から)(抄)」吉元昭治『日本医
史学雑誌』37(2)185-187
「嘉永七年 尾台榕堂の住居図(口絵)」『漢方の臨床』38(2)
137-138
「尾台榕堂没後百二十年祭(写真)」『漢方の臨床』38(2)140-
150
「特別座談会 尾台榕堂翁を語る」矢数道明、藤平健、川田
貞夫、小曾戸洋、大塚恭男(司会)『漢方の臨床』38(2)155
-178
「尾台榕堂略年譜」『漢方の臨床』38(2)179
「榕堂尾台先生の著書について」長谷川弥人『漢方の臨床』
38(2)180-186
「臨床医としての尾台榕堂先生」松本一男『漢方の臨床』38(2)
187-195
「尾台榕堂の喉痺針について」田村靖子『漢方の臨床』38(2)
196-204
「尾台榕堂墨跡の解説」小曾戸洋『漢方の臨床』38(2)205-209
「尾台榕堂の漢誌」横田観風『漢方の臨床』38(2)210-220
「尾台榕堂の著書を入手するには」『漢方の臨床』38(2)229-
231

44 内科史

- 「多形黄色星状細胞腫(PXA)の歴史、組織学、組織化学、及び組織球形組織発生(英文)」Paulus Werner. Peiffer Jürgen『脳腫瘍病理』8(1)67-71
- 「わが国における胃癌研究の歴史」石川浩一『消化器外科』14(4)397-410
- 「本邦における消化管ポリープ研究の歴史と展望」宇都宮讓二『日本臨床』49(12)2739-2743
- 「Evolution of Human Diseases 直立歩行の進化の歴史に新しい内科学を学ぶ」奥村信一、三品均、奥山洵子『映像情報 Medical』23(18)1071-1080
- 「阪大における心身医学研究の歴史」金子仁郎『心身医療』3(11)1645-1648
- 「疫学的見地からみた消化性潰瘍の歴史」五ノ井哲朗『消化性潰瘍 臨床と基礎』10(1)23-31
- 「消化器内視鏡の開発から治療内視鏡への歴史」竹本忠良、河村奨『総合臨床』40(10)2257-2258
- 「新・心をめぐる医学の歴史(25)・(26)ウイリアム・ハーヴェイと心をめぐる医学の発展につくした人びと(2)・(3)」深瀬泰旦『ハートナーシング』4(1,2)30-37,128-131
- 「血友病の歴史と疫学」福井弘『小児内科』23(2)161-165
- 「カルチトニンの歴史」藤田拓男『骨・関節・靱帯』4(5)569-573
- 「じん肺標準写真の歴史(総説)」細田裕、松本徹、野辺地篤

郎『臨床放射線』36(2)195-203

- 「ペプシン発見から現状まで」三木一正『消化性胃潰瘍 臨床と基礎』10(2)124-139
- 「消化器病と漢方薬 歴史、現在そして未来(会議録)」水野修一『日本消化器病学会雑誌』88(臨増)1812
- 「血小板研究の歴史と展望」安永幸二郎『International Journal of Hematology』54(Suppl.1)47
- 「気道過敏性の歴史」牧野荘平『喘息』4(2)98-100
- 「気道過敏性の歴史 気道反応性表現の定量化」牧野荘平『喘息』4(3)137-139

45 (1)皮膚科史

- 「皮膚科の医史学”皮膚科は内科系か外科系か”(抄)」大村敏郎『神奈川医学会雑誌』18(1)142
- 「皮膚疾患のムラージュ アンケート調査と史的展望一」長門谷洋治『皮膚病診療』13(3)248

45 (2)泌尿器科史

- 「日本泌尿器科臨床史(第1回)泌尿器科はなぜ皮膚科といっしょだったか」友吉唯夫『臨床泌尿器科』45(4)344-345
- 「日本泌尿器科臨床史(第2回)泌尿器科関係学術誌の形成過程」友吉唯夫『臨床泌尿器科』45(5)434-435
- 「日本泌尿器科臨床史(第3回)皮膚泌尿器科時代学者の研究の幅」友吉唯夫『臨床泌尿器科』45(7)532-533

- 「日本泌尿器科臨床史(第4回)高橋明著の二大図譜 その1『膀胱鏡図譜』友吉唯夫『臨床泌尿器科』45(8)622-623
- 「日本泌尿器科臨床史(第5回)高橋明著の二大図譜 その2『泌尿器レントゲン図譜』友吉唯夫『臨床泌尿器科』45(9)716-717
- 「日本泌尿器科臨床史(第6回)過去唯一の泌尿器科学辞典」友吉唯夫『臨床泌尿器科』45(10)804-805
- 「日本泌尿器科臨床史(第7回)わが国におけるインポテンス概念の成立」友吉唯夫『臨床泌尿器科』45(11)898-899
- 「日本泌尿器科臨床史(第8回)日本における勃起機構の認識史」友吉唯夫『臨床泌尿器科』45(12)988-989
- 「日本泌尿器科臨床史(第9回)欧米の性科学によって評価された日本の装着型陰莖プロステーシス」友吉唯夫『臨床泌尿器科』45(13)1066-1067

46 病院史

- 「病院の歴史」高橋勝三『日本病院会雑誌』38(12)1769-1774
- 「明治天皇の大坂行幸で始まった洋式病院と西洋医学講義録の出版(抄)」中室嘉祐『日本医史学雑誌』37(2)255-257
- 「京都府療病院設立、その経済的基盤と勸諭方伊藤貫宗(鹿苑寺)ならびに佐々間雲巖(慈照寺)の事跡(二)」藤田俊夫『啓迪』(9)15-19

47 病跡学

- 「草壁系諸帝の病迹」稻垣直『日本医史学雑誌』37(2)278-280
- 「病とその文学—夏目漱石の修善寺大患—」黒沢勉『医事学研究』(5)91-148
- 「夏目漱石の胃病とその文学—修善寺の大患を中心として—」高橋正夫『日本医史学雑誌』37(3)349-363
- 「夏目漱石の胃病とその文学—修善寺の大患を中心として—(抄)」高橋正夫『日本医史学雑誌』37(2)272-273

48 病理学史

- 「尿蛋白定量末吉法について(抄)」会田恵『日本医史学雑誌』37(2)281-282
- 「岡山における明治初期の病理解剖(抄)」中山沃『日本医史学雑誌』37(2)260-262
- 「フットライト トーマス・ホジキンの標本のたどった道」難波紘二『ミクروسコピア』8(3)8-16

49 風俗史

- 「スライド供覧『酒器、おもと』」中村俊雄『北陸医史』12(1)81-84

51 法医学史

- 「西中国医科大学における法医学の歴史」Wu Jiawen. Wu Meiyun, Zhao Qu『法医学の実際と研究』(34)341-342

52 放射線医学史

- 「最初期X線診断学に関する内外文献の考察(抄)」塩津二郎、森山徳長、奥田克爾、高添一郎『日本歯科医史学会会誌』17(4)260-261
- 「子宮癌放射線治療の歴史(1)」館野之男『放射線科学』34(9)287-290
- 「子宮癌放射線治療の歴史(2)」館野之男『放射線科学』34(12)395-398

53 本草学・博物学史

- 「『新薬百品考』の序文について(抄)」岩治勇一『北陸医史』12(1)54-55
- 「小野蘭山、蕙畝と幕府医学館薬園(抄)」遠藤正治『日本医史学雑誌』37(2)205-207
- 「日本の本草学の展開—小野蘭山の学統一」遠藤正治『日中実学史研究』111-135

54 麻酔学史

- 「麻酔学書誌学的研究(第6報)—“Dental Materia Medica”にみられる麻酔に関する記述—(抄)」石橋肇、渋谷紘、小池陽一郎、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』17(4)253-254
- 「麻酔学書誌学的研究(第5報)頓宮寛編「伝達麻酔法」(抄)」石橋肇、土屋裕子、池田かのり、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』17(3)202-203

- 「周産期の麻酔 序論 産科麻酔の歴史と展望」大川昭二、正木雄三郎、小倉久男『周産期医学』21(8)1109-1113
- 「Palliative care をめぐる最新の話題 麻酔の歴史と除痛」小川節郎、鈴木太『PHARMA Medica』9(9)83-88
- 「第8回日本医学会にみられる麻酔の発表(抄)」渋谷紘、石橋肇、吉井秀鑄、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』17(4)256-257
- 「Wells 笑気麻酔の虚実—そのとき麻酔をかけたのは誰か—」中原泉『日本歯科医史学会々誌』17(3)204-205
- 「局所麻酔は誰が始めたか(抄)」中原泉『日本歯科医史学会々誌』17(4)252-253
- 「京都における近代麻酔科学への道程(抄)」藤田俊夫『日本医史学雑誌』37(2)282-284

56 薬学史

- 「梅花錠効能書」『慾齋研究会だより』(55)1
- 「薬剤疫学序説 歴史、現状および世界的共同研究の可能性」Jones Judith K.『薬事』33(1)27-34
- 「ACE阻害薬の歴史と展望」国府達郎『クリニシアン』38(2)129-133
- 「Insulin およびその製剤に関する薬局方の史的考察(その2) 分析技術進歩の影響」末廣雅也『薬史学雑誌』26(1)37-45
- 「薬の歴史のとらえ方(9)実学の興隆」宗田一『薬史学会通信』(12)3-5

- 「薬の歴史のとらえ方(10)幕府の専売制と諸藩の経済政策」
宗田一『薬史学会通信』(13)3-4
- 「クリニカル・ファーマシーの歴史と思想(第4報)」辰野美紀『日本薬学会111年会講演要旨集』(4)227
- 「抗アレルギー薬の歴史と現況」永井博式『JOHNS』7(2)157-164
- 「薬の携帯とその容器の史的研究(3)印箋以外の場合」服部昭『薬史学雑誌』26(1)7-11
- 「薬の携帯とその容器の史的研究(4)吸湿の概念と防湿対策(江戸時代)」服部昭『薬史学雑誌』26(1)31-36
- 「『農業全書』所蔵の薬用植物(第1報)薬種類について」浜田善利『薬史学雑誌』26(1)46-51
- 「『農業全書』所蔵の薬用植物(第2報)栽培植物の薬用について」浜田善利『薬史学雑誌』26(1)52-56
- 「大正期、前期における中国産繁用生薬の輸入についての考察(6)とくに大黃の輸入量ならびに価格の変遷について」播磨章一、田中康雄『薬史学雑誌』26(1)24-30
- 「抗菌剤開発の歴史と院内感染」古谷信彦『治療学』25(5)609-614
- 「シーボルトの処方箋」宮崎正夫『薬史学雑誌』26(1)12-23
- 「戦後薬務行政の変遷」渡辺徹『薬史学雑誌』26(1)1-6

57 蘭学史

「蘭学のルーツについて —オランダ外科医界由来の医学—

- (抄)」石田純郎、H.ボイケルス『日本医史学雑誌』37(2)241-243
- 「『ヘンチヤンチのナチュラルキュンデ』(蘭書)について」岩治勇一『福井県医師会だより』(356)27
- 「武谷家所蔵の蘭学者書簡のポトガラヒーについて」遠藤正治『洋学史学会1991年度大会発表資料』1-14
- 「西洋科学技術導入期における蘭学者の伝統的制度への回帰—「適塾」門下生の歴史・科学社会学的分析—」北嶋守『社会学評論』(41)261-276
- 「蘭学の背景(美作の場合)1」下山純正『津山洋学資料館友の会だより』(18)8
- 「『喬梁連累公案』について」中西啓『鳴滝紀要』(創刊号)14-51

59 その他

- 「谷野一栢の易学を識る資料(1)『命期経軌限盈縮図』について」岩治勇一『福井県医師会だより』(353)20-21
- 「谷野一栢の易学を識る資料補遺—鎌倉時代の占星図表—」岩治勇一『福井県医師会だより』(357)23
- 「表紙の心(37)『紅夷外科宗伝』の外科絵図」大村敏郎『臨床外科』46(1)72
- 「表紙の心(38)外科における日仏の歴史的な絆」大村敏郎『臨床外科』46(2)220
- 「表紙の心(39)ダビット彫刻美術館の外科医パレの像」大村

敏郎『臨床外科』46(3)340
「表紙の心(40)石燈籠に託す感謝の気持」大村敏郎『臨床外科』46(4)474
「表紙の心(41)華岡青洲の外科結びの紋所」大村敏郎『臨床外科』46(5)600
「表紙の心(42)華岡青洲の生地」大村敏郎『臨床外科』46(6)739
「表紙の心(43)曼陀羅華の実と麻酔」大村敏郎『臨床外科』46(7)850
「表紙の心(44)『解体新書』の記念碑」大村敏郎『臨床外科』46(8)992
「表紙の心(45)『蘭学事始』のフルヘッヘンド」大村敏郎『臨床外科』46(9)1132
「表紙の心(46)福澤諭吉生誕碑」大村敏郎『臨床外科』46(10)1240
「表紙の心(47)医学の影の力『グーテンベルクと印刷器』」大村敏郎『臨床外科』46(11)1362
「表紙の心(48・最終回)アンブロアズ・パレの著作の一部」大村敏郎『臨床外科』46(13)1500
「葉箱と葉礼」酒井シヅ『CLINICIAN』38(397)2-3
「現代医学の史的背景」酒井シヅ『すくえあ(SQUARE)』(12)14-18
「表紙のことはば 13世紀の外科」酒井シヅ『手術』45(1)9
「表紙のことはば 14世紀の人体解剖」酒井シヅ『手術』45(2)

157
「表紙のことはば ヘルニア」酒井シヅ『手術』45(3)301
「表紙のことはば 16世紀のドイツの外科医 Caspar Stromayr」酒井シヅ『手術』45(4)421
「表紙のことはば 17世紀の脱疽手術」酒井シヅ『手術』45(5)535
「表紙のことはば J.S.Dorsey の外腸骨動脈結紮術」酒井シヅ『手術』45(7)999
「表紙のことはば Samuel David Gross(1805-1884)の頸部良性腫瘍摘出術」酒井シヅ『手術』45(8)1099
「表紙のことはば アメリカの外科書」酒井シヅ『手術』45(9)1235
「表紙のことはば H.O.Marcy のヘルニア手術」酒井シヅ『手術』45(10)1457
「表紙のことはば 19世紀前半のパリの病理解剖学」酒井シヅ『手術』45(11)1690
「表紙のことはば ギプス包帯とナポレオン」酒井シヅ『手術』45(12)1802
「表紙のことはば(最終回)ナポレオンの侍医 Larrey」酒井シヅ『手術』45(13)1958
「優生学史研究の動向(1)」鈴木善次、松原洋子、坂野徹『科学史研究』(180)225-233
「ある幕府典薬頭の京見物(付)伊勢参宮」宗田一『啓迪』(9)6-11

「典薬頭(幕府)の記す将軍の死」宗田一『医譚』(60)3623-3626
「典薬頭(幕府)のみた将軍宣下御規式」宗田一『和漢薬』(455)
6-7
「医史学への招待(抄)」中野政男『神奈川医学会雑誌』18(1)
141
「健康観の変遷と人間ドックの対応 人間ドックの歴史と将来像 当事業団の経験から(抄)」中山耕作他1『健康医学』
5(2)3-7
「『仁助咄』にみられる医学(抄)」浜田善利『日本医史学雑誌』
37(2)222-223
「『回生録』の研究(1)(抄)」昼田源四郎、末田尚『日本医史学雑誌』37(2)227-229
「心敬の世界 ーある極北の美意識についてー」森忠重『明治薬科大学研究紀要』(21)71-89
「一隅を照す医学の輝き(抄)」山中太木『日本医史学雑誌』
37(2)163-166
「ジョン・ミルンの日本人種論」吉岡郁夫『科学史研究』(180)
234-241
「神枕(薬枕)」吉元昭治『牧尾良海博士喜寿記念儒佛道三教思想論攷』261-289

61 欧文文献

Oberlaender, Christian : Die Bewegung fuer den Fortbestand der traditionellen Kanpo-Medizin in Japan(1874-

1895). *Medizin, Gesellschaft und Geschichte* 103-126.
WINTER, Alison : *Ethereal Epidemic : Mesmerism and the Introduction of Inhalation Anaesthesia to Early Victorian London*. *So. Hist. Med.* 4(1), 1-28
LOUDON, Irvine : *On Maternal and Infant Mortality 1900-1960*. *So. Hist. Med.* 4(1), 29-74
PINELL, Patrice : *Cancer Policy and the Health System in France : 'Big Medicine' Challenges the Conception and Organization of Medical Practice*. *So. Hist. Med.* 4(1), 75-102
MARCHINI, Nellielena Vanzan : *Italian Scholars and the Social History of Medicine 1960-1990*. *So. Hist. Med.* 4(1), 103-116
FOX, Enid : *The Jewish Maternity Home and Sick Room Helps Society 1895-1939 : A Reply to Lara Marks*. *So. Hist. Med.* 4(1), 117-122
MARKS, Lara : *Ethnicity, Religion and Health Care*. *So. Hist. Med.* 4(1), 123-128
BORSAY, Anne : *Cash and Conscience : Financing the General Hospital at Bath(1738-1750)*. *So. Hist. Med.* 4(2), 207-230
SOUTHALL, Humphrey/GARRETT, Eilidh : *Morbidity and Mortality among Early Nineteenth Century Engineering Workers*. *So. Hist. Med.* 4(2), 231-252

- JENKINSON, Jacqueline : The Role of Medical Societies in the Rise of the Scottish Medical Profession 1730-1939. *So. Hist. Med.* 4(2), 253-276
- HILDRETH, Martha L. : The Influenza Epidemic of 1918-1919 in France : Contemporary Concepts of Aetiology, Therapy, and Prevention. *So. Hist. Med.* 4(2), 277-294
- OSWALD, N.T.A. : A Social Health Service Without Social Doctors. *So. Hist. Med.* 4(2), 295-316
- BURLEIGH, Michael : 'Euthanasia' in the Third Reich : Some Recent Literature. *So. Hist. Med.* 4(2), 317-328
- SZRETER, Simon : Introduction : The GRO and the Historians. *So. Hist. Med.* 4(3), 401-414
- GOLDMAN, Lawrence : Statistics and the Science of Society in Early Victorian Britain ; An Intellectual Context for the General Register Office. *So. Hist. Med.* 4(3), 415-434
- SZRETER, Simon : The GRO and the Public Health Movement in Britain, 1837-1914. *So. Hist. Med.* 4(3), 435-464
- HIGGS, Edward : Disease, Febrile Poisons, and Statistics : The Census as a Medical Survey, 1841-1911. *So. Hist. Med.* 4(3), 465-478
- LEWES, Fred : The GRO and the Provinces in the Nineteenth Century. *So. Hist. Med.* 4(3), 479-496
- ANDERSON, Margo : The US Bureau of the Census in the Nineteenth Century. *So. Hist. Med.* 4(3), 479-514
- DEROSIERES, Alain : Official Statistics and Medicine in Nineteenth-Century France : The SGF as a Case Study. *So. Hist. Med.* 4(3), 515-537
- MILLER, R. L. : Palaeoepidemiology, literacy and medical tradition among necropolis workmen in New Kingdom Egypt. *Med. Hist.* 35(1), 1-24
- EIGEN, Joel Peter : Delusion in the courtroom : the role of partial insanity in early forensic testimony. *Med. Hist.* 35(1), 25-49
- BROWN, P. S. : Medically qualified naturopaths and the General Medical Council. *Med. Hist.* 35(1), 50-77
- WYMAN, A.L. : Baron de Wenzel, Oculist to King George III : his impact on British ophthalmologists. *Med. Hist.* 35(1), 78-88
- SELIGMAN, Stanley A. : The lesser pestilence : non-epidemic puerperal fever. *Med. Hist.* 35(1), 89-102
- KOTTEK, Samuel : *Texts and Documents* : "Citizens! Do you want children's doctors?" : an early vindication of "paediatric" specialists. *Med. Hist.* 35(1), 103-116
- GORDON, Eleanora C. : Accidents among medieval children as seen from the miracles of six English saints and martyrs. *Med. Hist.* 35(2), 145-163

- PARK, Katharine/HENDERSON, John : "The first hospital among Christians" : the Ospedale di Santa Maria Nuova in early sixteenth-century Florence. *Med. Hist.* 35(2), 164-188
- ESTES, J. Worth : Quantitative observations of fever and its treatment before the advent of short clinical thermometers. *Med. Hist.* 35(2), 189-216
- BENISON Saul/BARGER A. Clifford/WOLFE, Elin L. : Walter B. Cannon and the mystery of shock : a study of Anglo-American co-operation in World War I. *Med. Hist.* 35(2), 217-249
- ISAACS, H. D. : *Texts and Documents* : A medieval Arab medical certificate. *Med. Hist.* 35(2), 250-257
- BORSAY, Anne : "Persons of honour and reputation" : the voluntary hospital in an age of corruption. *Med. Hist.* 35(3), 281-294
- BRUIJN, I.D.R./BRUIJN G.W. : An eighteenth-century medical hearing, and the first observation of tropical Phagedaena. *Med. Hist.* 35(3), 295-307
- WORBOYS, Michael : Germ theories of disease and British veterinary medicine, 1860-1890. *Med. Hist.* 35(3), 308-327
- FOX, Enid : Powers of life and death : aspects of maternal welfare in England and Wales between the wars. *Med. Hist.* 35(3), 328-352
- DANCHEV, Alex : The strange case of Field Marshal Sir John Dill. *Med. Hist.* 35(3), 353-357
- ACHESON, Roy/POOLE, Penelope : The London School of Hygiene and Tropical Medicine : a child of many parents. *Med. Hist.* 35(4), 385-408
- COLEY, Noel G. : Alfred Swaine Taylor, MD, FRS(1806-1880) : forensic toxicologist. *Med. Hist.* 35(4), 409-427
- ADAMSON, P. B. : Surgery in ancient Mesopotamia. *Med. Hist.* 35(4), 428-435
- TRAIISTER, Barbara H. : *Texts and Documents* : "Matrix and the Pain Thereof" : a sixteenth - century gynaecological essay. *Med. Hist.* 35(4), 436-451
- DETH, Ron Van/VANDEREYCKEN, Walter : Was Nervous Consumption a Precursor of Anorexia Nervosa?. *J. Hist. Med. Allied. Sci.* 46(1), 3-19
- LA BERGE, Ann F. : Mothers and Infants, Nurses and Nursing : Alfred Donné and the Medicalization of Child Care in Nineteenth-Century France. *J. Hist. Med. Allied. Sci.* 46(1), 20-43
- LARSON, Edward J. : Belated Progress : The Enactment of Eugenic Legislation in Georgia. *J. Hist. Med. Allied. Sci.* 46(1), 44-64
- ROLAND, Charles G./SHANNON Harry S. : Patterns of

- Disease Among World War II Prisoners of the Japanese: Hunger, Weight Loss, and Deficiency Diseases in Two Camps. *J. Hist. Med. Allied. Sci.* 46(1), 65-85
- SPIVACK, Betty S.: A.C.Celsus: Roman Medicus. *J.Hist. Med. Allied. Sci.* 46(2), 143-157
- MCBRIDE, William M.: Normal Medical Science and British Treatment of the Sea Scurvy, 1753-75. *J. Hist. Med. Allied. Sci.* 46(2), 158-177
- ANDERSON, Lee: Headlights Upon Sanitary Medicine: Public Health and Medical Reform in Late Nineteenth-Century Iowa. *J. Hist. Med. Allied. Sci.* 46(2), 178-200
- CHERNIN, Eli: Ross Defends Haffkine: The Aftermath of the Vaccine-Associated Mulkowal Disaster of 1902. *J. Hist. Med. Allied. Sci.* 46(2), 201-218
- CAMPBELL, William C.: Edward Leicester Atkinson: Physician, Parasitologist, and Adventurer. *J. Hist. Med. Allied. Sci.* 46(2), 219-240
- LAURENCE, Brian R.: Elephantiasis in Early Polynesia. *J.Hist. Med. Allied. Sci.* 46(3), 277-290
- MCMILLEN, Sally G.: "No Uncommon Disease": Neonatal Tetanus, Slave Infants, and the Southern Medical Profession. *J.Hist. Med. Allied. Sci.* 46(3), 291-314
- SUMMERS, William C.: On the Origins of the Science in *Arrowsmith*: Paul de Kruif, Felix d'Herelle, and Phage. *J. Hist. Med. Allied. Sci.* 46(3), 315-332
- BREEN, Louise A.: Cotton Mather, the "Angelical Ministry," and Inoculation. *J. Hist. Med. Allied. Sci.* 46(3), 333-357
- MARMELZAT, Willard L.: Galen on "Glands" and "Spongy Flesh": With Special References to an Ancient Mechanico-Biophysical Theory for Superficial Lymph Node Function. *J.Hist. Med. Allied. Sci.* 46(4), 419-439
- DUFFIN, Jacalyn/RENÉ, Pierre: "Anti-moine; Antibiotique": The Public Fortunes of the Secret Properties of Antimony Potassium Tartrate (Tartar Emetic). *J. Hist. Med. Allied. Sci.* 46(4), 440-456
- COURTWRIGHT, David T.: Disease, Death, and Disorder on the American Frontier. *J.Hist. Med. Allied. Sci.* 46(4), 457-492
- CONDON-RALL, Mary Ellen: Allied Cooperation in Malaria Prevention and Control: The World World II Southwest Pacific Experience. *J. Hist. Med. Allied. Sci.* 46(4), 493-513
- PATTERSON, K. David/PYLE, Gerald F.: The Geography and Mortality of the 1918 Influenza Pandemic. *Bull.*

- Hist. Med. 65(1), 4-21
- CUETO, Marcos: *Indigenismo* and Rural Medicine in Peru: The Indian Sanitary Brigade and Manuel Nuñez Butrón. Bull. Hist. Med. 65(1), 22-41
- SELLERS, Christopher: The Public Health Service's Office of Industrial Hygiene and the Transformation of Industrial Medicine. Bull. Hist. Med. 65(1), 42-73
- PERSONS, Stow: The Decline of Homeopathy—The University of Iowa, 1876-1919. Bull. Hist. Med. 65(1), 74-87
- BRIEGER, Gert H.: *The Fielding H. Garrison Lecture: Classics and Character: Medicine and Gentility*. Bull. Hist. Med. 65(1), 88-109
- ESTES, J. Worth: The Shakers and Their Proprietary Medicines. Bull. Hist. Med. 65(2), 162-184
- WAILOO, Keith: "A Disease *sui generis*" : The Origins of Sickle Cell Anemia and the Emergence of Modern Clinical Research, 1904-1924. Bull. Hist. Med. 65(2), 185-208
- DUPREE, Marguerite W./CROWTHER, M. Anne: A Profile of the Medical Profession in Scotland in the Early Twentieth Century: *The Medical Directory As a Historical Source*. Bull. Hist. Med. 65(2), 209-233
- BENISON, Saul: *The Fielding H. Garrison Lecture: Walter B. Cannon and the Politics of Medical Science, 1920-1940*. Bull. Hist. Med. 65(2), 234-251
- CARTER, K. Codell/ TATE, George S.: *Texts and Documents: The Earliest-Known Account of Semmelweis's Initiation of Disinfection at Vienna's Allgemeines Krankenhaus*. Bull. Hist. Med. 65(2), 252-257
- WARNER, John Harley: Remembering Paris: Memory and the American Disciples of French Medicine in the Nineteenth Century. Bull. Hist. Med. 65(3), 301-325
- BLOCK, Stanley L.: Daniel Drake and the Insanity Plea. Bull. Hist. Med. 65(3), 326-339
- HUDDLE, Thomas S.: Looking Backward: The 1871 Reforms at Harvard Medical School Reconsidered. Bull. Hist. Med. 65(3), 340-365
- PEITZMAN, Steven J.: Micropuncture and the Mechanistic Kidney: A New Look at a Classic Experiment. Bull. Hist. Med. 65(3), 366-375
- CRAIG, Barbara L.: The Role of Records and of Record-Keeping in the Development of the Modern Hospital in London, England, and Ontario, Canada, c. 1890-c. 1940. Bull. Hist. Med. 65(3), 376-397
- ESTES, J. Worth: American Association for the History of Medicine: Report of the Sixty-fourth Annual Meeting. Bull. Hist. Med. 65(3), 398-408
- GAMBLE, Vanessa Northington: The Provident Hospital

- Project: An Experiment in Race Relations and Medical Education. Bull. Hist. Med. 65(4), 457-475
- KING, Charles R.: The New York Maternal Mortality Study: A Conflict of Professionalization. Bull. Hist. Med. 65(4), 476-502
- CONNOR, J. T. H.: "A sort of *felo-de-se*": Eclecticism, Related Medical Sects, and Their Decline in Victorian Ontario. Bull. Hist. Med. 65(4), 503-527
- CARTER, K. Codell: The Development of Pasteur's Concept of Disease Causation and the Emergence of Specific Causes in Nineteenth-Century Medicine. Bull. Hist. Med. 65(4), 528-548
- MEYER, Gregg S.: Criminal Punishment for the Transmission of Sexually Transmitted Diseases: Lessons from Syphilis. Bull. Hist. Med. 65(4), 549-564
- KIPLE, Kenneth F. (Chair): American Association for the History of Medicine: Report of the Committee on Ethical Codes. Bull. Hist. Med. 65(4), 565-570

6 0 中国語文献(北里東医研医史学研部担当)

- 「对中国医学形成的一些看法」趙璞珊『中華医史雜誌』21(1) 1~5
- 「略論唐代的針灸成就」史広宇『中華医史雜誌』21(1)6~9
- 「盱江医学初論」劉曉庄・黄素英『中華医史雜誌』21(1)

10~13

- 「祖国医学“嬰病調母”療法探源」馬丙祥『中華医史雜誌』21(1)14~16
- 「中国古代医学考試管窺」高也陶『中華医史雜誌』21(1)17~18
- 「陝甘寧辺区防疫工作的成就(1937~1949)」孔淑真『中華医史雜誌』21(1)19~23
- 「中央防疫処簡史」尹銀亮『中華医史雜誌』21(1)25~29
- 「閩西蘇区的中医薬(1929~1934)」華碧春『中華医史雜誌』21(1)30~32
- 「西医化学消毒的歴史」吳玉章・涂雲『中華医史雜誌』21(1) 33~37
- 「臨床放射学簡史」馬玉峰『中華医史雜誌』21(1)38~41
- 「巴累及其医学成就」牛亜華『中国医史雜誌』21(1)42~43
- 「蒙医名著『哲对寧諾爾』簡介」齊烏蘭『中華医史雜誌』21(1) 44~45
- 「瓜蒌与天花粉的本草考証」楽崇熙『中華医史雜誌』21(1) 46~50
- 「龐安時著作考」毛德華『中華医史雜誌』21(1)52~55
- 「『神農本草經』成書年代新証」王家葵『中華医史雜誌』21(1) 56~59
- 「從避諱談竜門石窟薬方の刻制年代」賈志宏等『中華医史雜誌』21(1)60~61
- 「医籍名義三題」陽太『中華医史雜誌』21(1)62~63
- 「評『現代医学50年』」趙石麟『中華医史雜誌』21(1)64~65

「怎樣編寫論文摘要」陸肇基『中華醫史雜誌』21(1)5
「瑤族的杉刺療法」莫蓮英·何最武『中華醫史雜誌』21(1)24
「首先使用切片機制作切片的人」甄橙『中華醫史雜誌』21(1)29
「血液化学家」袁成『中華醫史雜誌』21(1)37
「19世紀的兩位組織胚胎学家」甄橙『中華醫史雜誌』21(1)37
「生理化学家李比希」成輝『中華醫史雜誌』21(1)41
「瓦爾薩瓦解放精神病人」袁君『中華醫史雜誌』21(1)51
「早於巴甫洛夫的消化生理研究」甄橙『中華醫史雜誌』21(1)51
「維薩里的著作」振寰『中華醫史雜誌』21(1)55
「解剖学家維薩里的錯誤」之范『中華醫史雜誌』21(1)55
「關於我國醫史学研究目的和任務的回顧與探索」甄志亞『中華醫史雜誌』21(2)65~70
「敦煌唐人寫本『備急單驗藥方卷』在英國首次發現」王冀青『中華醫史雜誌』21(2)71~75
「『法古錄』評議」尚志鈞『中華醫史雜誌』21(2)76~78
「『五十二病方』“巢者”考積」嚴健民『中華醫史雜誌』21(2)79~80
「川貝母始載本草文獻」林森榮『中華醫史雜誌』21(2)81~82
「卜魁中醫藥源流」蘭殿君『中華醫史雜誌』21(2)83~85
「詐病考」程如海『中華醫史雜誌』21(2)86~87
「俾鐵樵生平和學術思想」吳雲波『中華醫史雜誌』21(2)88~93
「陝西醫藥期刊述略(1909~1949)」孫忠年『中華醫史雜誌』

21(2)94~97

「台灣醫界人士在日本殖民統治時期」敦鏡智『中華醫史雜誌』21(2)98~101
「溫州藥用植物“百草園”始末記」李珍『中華醫史雜誌』21(2)102~103
「中國現代最早的麻醉醫師—馬月青」羅來葵等『中華醫史雜誌』21(2)104
「海南黎族醫藥」林詩泉『中華醫史雜誌』21(2)105~106
「古代中朝醫藥交流簡史」張文宣『中華醫史雜誌』21(2)107~110
「骨移植簡史」陳堅『中華醫史雜誌』21(2)111~114
「紀念赫爾姆霍茨與微爾嘯誕辰170周年」甄橙『中華醫史雜誌』21(2)115~118
「阿拉伯名醫拉齊對天花和麻疹的記述」馬伯英『中華醫史雜誌』21(2)119~122
「王屋山孫真人墓」張金鼎等『中華醫史雜誌』21(2)123~124
「俞震『古今醫案按』親筆序文初稿」林乾良『中華醫史雜誌』21(2)125~126
「評『中國傳統文化與醫學』」陳可冀『中華醫史雜誌』21(2)127~128
「“老神仙”考略」張宗棟『中華醫史雜誌』21(2)70
「首先描述白細胞增多症的人」光明『中華醫史雜誌』21(2)70
「19世紀法国的幾位病理学家」史悟『中華醫史雜誌』21(2)75
「意大利細菌学的先驅們」甄橙『中華醫史雜誌』21(2)80

「林則徐為『金匱要略淺注』作序」溫志大等『中華醫史雜誌』21(2)82

「神經—筋肉電流傳導的發現」小輝『中華醫史雜誌』21(2)82

「雷奈克的貢獻」甄橙『中華醫史雜誌』21(2)87

「關於羅基坦斯基」甄橙『中華醫史雜誌』21(2)114

「希夫對生理學的研究」小輝『中華醫史雜誌』21(2)122

「19世紀法國名醫路易斯」袁君『中華醫史雜誌』21(2)122

「重視病理學史的羅布斯泰恩」史悟『中華醫史雜誌』21(2)128

「『靈樞』中人體解剖的左右定位」王振海『中華醫史雜誌』21(2)封3

「『諸病源候論』的病源學研究」李經緯『中華醫史雜誌』21(3)129~134

「明堂圖考」靳士英『中華醫史雜誌』21(3)135~140

「論張仲景·王叔和與『傷寒例』」曹東義『中華醫史雜誌』21(3)141~144

「『靈樞』『素問』并非『黃帝內經』——兼論『靈樞』『素問』成書於東漢」田樹仁·王建中『中華醫史雜誌』21(3)145~149

「李時珍對『証類本草』蝦蟇條的綜合治理」孫啓明『中華醫史雜誌』21(3)150~152

「張仲景對防治醫源性疾病的貢獻」邢哲斌『中華醫史雜誌』21(3)153~156

「戴氏世醫考」田渭法等『中華醫史雜誌』21(3)157~158

「中國公費醫療史初探」孫繼全·時維々『中華醫史雜誌』21(3)159~160

「東北抗日聯軍醫藥衛生工作」于永敏·王忠雲『中華醫史雜誌』21(3)161~165

「上海近代西醫教育概述」陸明『中華醫史雜誌』21(3)166~170

「杭州清華醫室珍藏醫書——董浩先生追憶」葉永生『中華醫史雜誌』21(3)171~172

「阿姆奎斯特與維生素K——對維生素K發現的反思」張大慶『中華醫史雜誌』21(3)173~177

「雷斯內爾與前庭膜」王志斌·譚慎微『中華醫史雜誌』21(3)178~179

「消化生理學發展史研究」許紅·吳元黔『中華醫史雜誌』21(3)180~183

「心臟病學大事年表」胡恒慧『中華醫史雜誌』21(3)184~186

「彝族古籍『宇宙人文論』之醫學探討」閔祥祖·郭雲仙『中華醫史雜誌』21(3)187~188

「金持重弘來華學醫派遣者考弁」史世勤『中華醫史雜誌』21(3)189~190

「評『彝族醫藥史』」和中浚『中華醫史雜誌』21(3)191~192

「19世紀法國的神經生理學家」小輝『中華醫史雜誌』21(3)134

「大量放血的醫生」伊詩『中華醫史雜誌』21(3)140

「循環生理學的先驅者」袁君『中華醫史雜誌』21(3)149

「宋“諸州軍醫”非軍醫」史繼剛『中華醫史雜誌』21(3)156

「實驗生理學的開端」甄橙『中華醫史雜誌』21(3)160

「卡介苗的發明」宋之琪『中華醫史雜誌』21(3)165

「細胞學說的創建前後」真誠『中華醫史雜誌』21(3)172

「青州医学堂」陳軍『中華医史雜誌』21(3)177
「馬里和賽卡爾德」袁君『中華医史雜誌』21(3)183
「柏爾的貢獻」振宸『中華医史雜誌』21(3)186
「19世紀英国的病理解剖学」史真輝『中華医史雜誌』21(3)188
「19世紀都柏林学派的代表」史悟『中華医史雜誌』21(3)190
「朱禱生年補缺」張一群『中華医史雜誌』21(3)192
「記念医史学家李濤教授誕辰90周年」李鼎蘭『中華医史雜誌』
21(4)193~197
「記念李濤教授誕辰90周年」Joseph Needham(李約瑟)『中
華医史雜誌』21(4)198
「我国医史科研教学的先驅者李濤教授」馬堪温『中華医史雜
誌』21(4)199~202
「李濤教授与医学期刊編輯工作」陸肇基『中華医史雜誌』21(4)
203~206
「中医学传承体系的形成」朱現平『中華医史雜誌』21(4)
207~209
「金元医家新考」高偉『中華医史雜誌』21(4)210~213
「張錫純年譜」趙洪鈞『中華医史雜誌』21(4)214~218
「海南抗瘧史略」林詩泉·林培政『中華医史雜誌』21(4)
219~224
「試論漢壯医藥交流」蘇漢良『中華医史雜誌』21(4)225~227
「檢眼鏡的歷史」蕭国士·劉万里『中華医史雜誌』21(4)
228~231
「略述西方医学史上的一些預測」高潮『中華医史雜誌』21(4)

232~235
「伝統医学在欧洲」蔡捷恩『中華医史雜誌』21(4)236~243
「冬莠考略」王安邦·林新治『中華医史雜誌』21(4)244~246
「『遵生八箋』弁疑数則」趙立勛『中華医史雜誌』21(4)247~250
「南詔大理国時期的兩位医家墓碑」楊大可『中華医史雜誌』
21(4)251~252
「誦『葉王孫思邈』」張学文·李興民『中華医史雜誌』21(4)
253~254
「最早記錄心筋動作電位的人」唐朝克『中華医史雜誌』21(4)
197
「英国的幾位外科学家」甄橙『中華医史雜誌』21(4)202
「『五十二病方』“量簧”考」孫啓明『中華医史雜誌』21(4)206
「名師高徒」吳池仁『中華医史雜誌』21(4)213
「漢簡『脈書』“浸”与“脈浸”考」杜勇『中華医史雜誌』21(4)
218
「旅行医生」史真輝『中華医史雜誌』21(4)224
「德国近代外科先驅」小輝『中華医史雜誌』21(4)235
「維多利亞時期的臨床医家」史悟『中華医史雜誌』21(4)243
「維也納学派的代表」袁明『中華医史雜誌』21(4)243
「南森·史密斯首創卵巢切除術」李丹『中華医史雜誌』21(4)
246
「欧洲近代的著名外科学家」実吾『中華医史雜誌』21(4)250
「19世紀早期美国著名的外科学家」伊詩『中華医史雜誌』21(4)
254